

ブルキナファソ国
初等教育・理数科現職教員改善プロジェクト
フェーズ2
実施協議報告書

平成23年12月
(2011年)

独立行政法人国際協力機構
人間開発部

序 文

ブルキナファソ国では、2002年に策定した「基礎教育10カ年計画」において教育へのアクセス拡大に取り組むとともに、2007年7月に改定した教育基本法において基礎教育の義務・無償化を規定し、初等教育総就学率を飛躍的に向上させました。他方、増加する就学者数に応じた教員増加のニーズも踏まえ、2002年に新規教員養成課程を2年から1年に短縮したこともあり、初等教育修了率は依然として低く、学習到達度試験結果でも改善が見られないなど、質的側面については課題を抱えています。ブルキナファソ教育省は、「基礎教育10カ年計画」において教育の質改善にも取り組むとともに、省令にて教員分科会講習会などの現職教員研修の実施を規定していますが、人材や教材など実施体制は十分ではなく、効果的な現職教員研修の実施には至っていない現状があります。

このようななか、ブルキナファソ政府の要請により、独立行政法人国際協力機構は、現職教員研修強化を通じた初等教員の理数科教授法改善を目的として、技術協力プロジェクト「初等教育・理数科現職教員研修改善プロジェクト2008年1月～2011年1月」（以下フェーズ1）を、国内4県において実施しました。同プロジェクトでは、理数科教育における学習者中心アプローチの具体的な実践方法であるASEI/PDSIを普及すべく、既存の教員分科会や視学官のモニタリングを活用しつつ、研修実施体制の構築、研修コンテンツの開発、研修講師の育成、教員研修の実施、地方教育行政官によるモニタリング強化に取り組みました。その結果、プロジェクト終了時にはすべての対象県で「教室レベルでの授業実践の改善」が確認されました。

そのため、ブルキナファソ政府は、この成果を全国に普及すべく、2009年8月に、わが国に対して技術協力プロジェクト「初等教育・理数科現職教員研修改善プロジェクトフェーズ2」（以下フェーズ2）を要請してきました。

かかる要請を受け、当機構は、2010年10月にフェーズ1の終了時評価に引き続いて実施したフェーズ2の第1次詳細計画策定調査、2011年9～10月の第2次調査を通し、ブルキナファソ教育省等関係機関と協力計画に関する協議を行いました。この調査結果を踏まえ、2011年12月、討議議事録（R/D）に署名しました。

本報告書は、ブルキナファソ技術協力プロジェクト「初等教育・理数科現職教員研修改善プロジェクト」の要請背景と案件形成の経緯、協議結果を取りまとめたものです。

本調査にご協力いただいた内外の関係各位に対し、心から感謝の意を表するとともに、引き続き一層のご支援をお願い申し上げます。

平成23年12月

独立行政法人国際協力機構

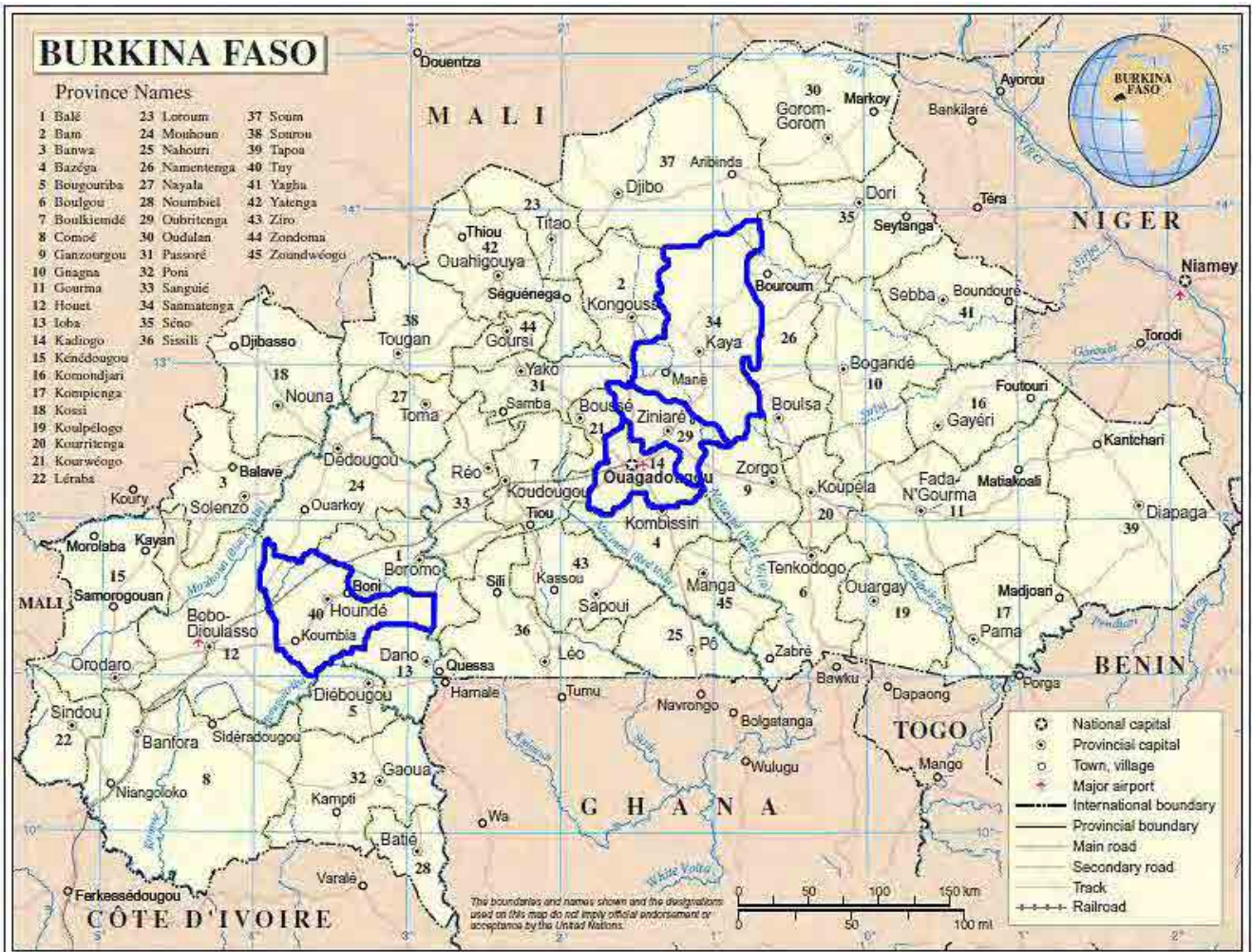
人間開発部長 萱島 信子

目 次

序 文
地 図
写 真
略語表

第 1 章 要請の背景	1
第 2 章 調査・協議の経緯と概略	2
2-1 詳細計画策定調査の経緯と概略	2
2-2 実施協議の概要	2
第 3 章 事前評価表	3
第 4 章 評価結果詳細	12
4-1 妥当性	12
4-2 有効性	13
4-3 効率性	13
4-4 インパクト	14
4-5 自立発展性	15
付属資料	
1 討議議事録、R/D（英語）	19
2 討議議事録、R/D（仏語）	40

地図



Map No. 4236 UNITED NATIONS
November 2004

Department of Peacekeeping Operations
Cartographic Section

<http://www.un.org/Depts/Cartographic/map/profile/burkina.p>

- フェーズ1パイロット県 (=地図上で青太線で囲まれた地域)
- 34 SANMATENGA (サンマテンガ県)
- 29 OUBRITENGA (ウブリテンガ県)
- 14 KADIOGO (カディオゴ県)
- 40 TUY (トゥイ県)

写 真



長級向けプロジェクト説明会議



経済・財務省国際協力局長代理の
ミニッツへの署名



国民教育・識字省次官とのミニッツ署名

略 語 表

略 語	正式名称	和 訳
ASEI/PDSI	Activity, Student, Experiment, Improvisation/Initiative - Plan, Do, See, Improve	活動、学習者中心、実験、創意工夫 - 計画、実践、評価、改善。 ケニア SMASSE で開発された授業改善アプローチのスローガン
CAST	Compte d'Affectation Spéciale du Trésor	コモンバスケット
CEB	Circonscription d'Education de Base	基礎教育学区
CEP	Certificat d'Études Primaires	初等教育修了資格（試験）
COGES	Comité de Gestion de l'Ecole	学校運営委員会
CPI	Conseiller Pédagogique Itinérant	巡回教育アドバイザー（視学官）
DAF	Direction (Directeur) de l'Administration et des Finances	（基礎教育・識字省）管理・財務局（長）
DDEB	Direction (Directeur) du Développement de l'Enseignement de Base	（基礎教育・識字省）基礎教育開発局（長）
DEC	Direction (Directeur) des Examens et Concours	（基礎教育・識字省）試験局（長）
DEP	Direction (Directeur) des Etudes et de la Planification	（基礎教育・識字省）調査計画局（長）
DG-COOP	Direction (Directeur) Général de la Coopération	（財務省）協力総局（長）
DG-CRIEF	Direction (Directeur) Général du Centre de Recherche, des Innovations Educatives et de la Formation	（基礎教育・識字省）教育改革・研修調査センター総局（長）
DGEB	Direction (Directeur) Générale de l'Enseignement de Base	（基礎教育・識字省）基礎教育総局（長）
DPEBA	Direction (Directeur) Provincial de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation	（基礎教育・識字省）県局（長）
DRDP	Direction (Directeur) de la Recherche et du Développement Pédagogique	（基礎教育・識字省）調査・教育開発局（長）
DREBA	Direction (Directeur) Régional de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation	（基礎教育・識字省）州局（長）
DRH	Direction des Ressources Humaines	人事局
ENEP	École Nationale des Enseignants du Primaire	初等教員養成校
ENS/UK	École Normale Supérieure de l'Université de Koudougou	高等師範学校 Koudougou 校
FCFA	Francs de la Communauté Financière Africaine	セーファーフラン

GAP	Groupe d'Animation Pédagogique	教員分科会
IEPD	Inspecteur de l'Enseignement du Premier Degré	視学官
INSET	In-Service Education and Training	現職教員研修
MEBA	Ministère de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation	基礎教育識字省
MENA	Ministère de l'Enseignement National et de l'Alphabétisation	国民教育・識字省
M/M	Minutes of Meeting	会議議事録
PDDEB	Plan Décennal de Développement de l'Education de Base	基礎教育開発 10 カ年計画
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PDSEB	Programme de Développement Stratégique de l'Education de Base(2011-2020)	基礎教育開発戦略プログラム
R/D	Record of Discussions	討議議事録
SCADD	Stratégie de croissance accélérée et de développement durable	成長の加速化と持続的開発戦略
SMASSE	Strengthening Mathematics and Science in Secondary Education	中等理数科教育強化プロジェクト
SMASE-WECSA	Strengthening Mathematics and Science Education in Western, Eastern, Central & Southern Africa	SMASE（理数科教育強化） アフリカ域内ネットワーク
TICAD	Tokyo International Conference for African Development	アフリカ開発会議

第1章 要請の背景

ブルキナファソ国は、2002年に「基礎教育10カ年計画」(PDDEB)を策定し、フェーズ1(2002～2007年)では「教育の量的拡大」に、フェーズ2(2008～2010)では「教育の質の改善」に重点を置いて取り組んできている。教育の質については、影響を与える要因は多くあるが、特にブルキナファソ国の初等教育においては、2002年に教員養成課程が2年間から1年間に短縮されて以来、教員の能力不足が大きな課題となっている。

このような状況のなか、現職教員に対する再教育の機会が限られていること、また初等教育において理数科が仏語と並び主要科目として位置づけられているにもかかわらず、その学習到達度が低いこと、さらに、わが国が理数科教育支援に対する豊富な経験を有していることから、国際協力機構(JICA)は、初等教員の理数科における教授法の改善をめざした技術協力プロジェクト「初等教育・理数科現職教員研修改善計画」(以下フェーズ1)を2008年1月から2011年1月まで実施した。

本プロジェクトでは、ブルキナファソ国内4県(カディオゴ、ウブリテンガ、サンマテンガ、トゥイ)の初等教員に対して児童中心型の理数科授業を普及・定着することをめざして、研修実施体制の構築、児童中心型授業にかかる研修コンテンツの開発、研修講師の育成、教員研修の実施、地方教育行政官によるモニタリング強化を行った。

本プロジェクトを高く評価したブルキナファソ国政府は、この成果を他地域に普及すべく、2009年8月に、わが国に対して技術協力プロジェクト「初等教育・理数科現職教員研修改善プロジェクトフェーズ2」(以下フェーズ2)の実施を要請した。ブルキナファソ国政府は当初、対象地域をフェーズ1の4県から10県に拡大する計画であったが、2009年11月のフェーズ1に対する運営指導調査時にJICA側と意見交換を行ったことを契機に、最終的にフェーズ2の対象地域を全国45県とする意向を示した。

このような状況の下、JICAは2010年10月にフェーズ1の終了時評価に引き続いてフェーズ2の第1次詳細計画策定調査を、2011年9～10月に第2次詳細計画策定調査を行った。

第2章 調査・協議の経緯と概略

2-1 詳細計画策定調査の経緯と概略

本プロジェクトの形成にあたり、以下の調査を実施した。

第1次詳細計画策定調査 2010年9月29日～10月15日

*フェーズ1終了時評価調査と併せて実施

第2次詳細計画策定調査 2011年9月11日～2011年10月9日

*現地治安悪化に伴い、当初予定から半年程度遅れて実施

各調査団構成は以下のとおり。

(1) 第1次詳細計画策定調査団

担当分野	氏名	所属
団長/総括	又地 淳	JICA 国際協力専門員/ケニア理数科教育強化プロジェクト・アカデミックアドバイザー
協力企画	徳田 真人	JICA 人間開発部基礎教育第二課 職員
評価分析	鈴木 伸幸	株式会社 アンジェロセック

(2) 第2次詳細計画策定調査団

担当分野	氏名	所属
団長/総括	西方 憲広	JICA 国際協力専門員
教育計画	犀川 修平	JICA 人間開発部基礎教育第二課 特別嘱託

2-2 実施協議の概要

第1次及び2次詳細計画策定調査の結果を踏まえ、プロジェクトの詳細についてブルキナファソ国政府とさらに協議を重ね、プロジェクトの実施、及び実施内容について合意に至った。

合意内容は討議議事録（Record of Discussions R/D）にまとめられ、2011年11月にJICAブルキナファソ事務所、及びブルキナファソ国民教育・識字省との間でR/Dに署名が行われた。

第3章 事業事前評価表（技術協力プロジェクト）

1. 案件名

国名 ブルキナファソ国

案件名 和名 初等教育・理数科現職教員研修改善計画フェーズ2

英名 The Project of Teachers Training Improvement in Science and Mathematics at the
Primary Level Phase II

(SMASE – BURKINA FASO II)

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における教育セクターの現状と課題

ブルキナファソでは、2007年7月に改定した教育基本法にて基礎教育の義務化(6～16歳)、無償化が規定され、初等教育総就学率が2001/2002学年度の45.9%、から2008/2009年には72.4%へ急増している。他方、初等教育修了率は2008/2009学年度では41.7%にとどまり、算数の学習達成度は2009年9月の仏語圏教育大臣会議(CONFEMEN)による調査(PASEC)によると10年前の調査時よりも低くなっている。また、理科についても、2007/2008年度のブルキナファソ国民教育識字省(MENA)による「学習到達度評価」における平均点は46.4点であり、2005/2006年度の50.0点よりも下がっている状況である。PASECでは、生徒の学力向上のためには、生徒の学習環境の改善だけではなく、教員の能力向上が必要であると分析されている。

しかしながら、多くの教員は生徒の理解度を考慮しない板書中心の暗記・詰め込み型授業を行っており、さらに2002年にブルキナファソの教員養成課程は2年から1年に短縮され、教員の能力開発が不十分であることが指摘されている。また、現職教員研修(Im-Service Education and Training : INSET)についても、MENA基礎教育総局(DGEB)が管轄している教員同士の自主的な講習会である教員分科会(GAP)が主要な制度であり、教員の能力向上のための機会や制度が十分に整えられているとはいえない。そのため、生徒の理解度を考慮する学習者中心型の授業実践を行える教員を育成するINSETの改善が急務となっている。

そのようななか、JICAは、INSET強化を通じた初等教員の理数科教授法改善を目的として技術協力プロジェクト「初等教育・理数科現職教員研修改善計画」(2008年1月～2011年1月)、(フェーズ1)を、ブルキナファソ国内4県(カディオゴ、ウブリテンガ、サンマテンガ、トゥイ)において実施した。同プロジェクトでは、学習者中心アプローチの具体的な実践方法であるASEI/PDSI¹の理数科授業を普及すべく、既存のGAPや視学官のモニタリングを活用しつつ、研修実施体制の構築、研修コンテンツの開発、研修講師の育成、教員研修の実施、地方教育行政官によるモニタリング強化に取り組んだ。その結果、プロジェクト終了時にはすべての対象県で「教室レベルでの授業実践の改善」が確認された²。

¹JICAの支援によるケニア「中等理数科教育強化計画(SMASSE)プロジェクト」(1998年7月～2003年6月)で開発されたActivity、Student-centered(学習者中心)、Experiment、ImprovisationやPlan-Do-See-Improvementのサイクルを重視した授業改善スローガン

²教員の授業でASEI/PDSIが実践されているかを1～5段階で評価する授業観察シートを使用してプロジェクトで実施した授業観察の平均点が、ベースライン調査時の2.59からエンドライン調査時には3.91と目標の3.50を上回った。

この結果を高く評価したブルキナファソ国政府は、フェーズ1の成果を全国へ拡大するとともに、更なる授業の質の向上、そして、それらを持続させる仕組みづくりに対する支援を日本政府に対して要請した。

(2) 当該国における教育セクターの開発政策と本事業の位置づけ

ブルキナファソの次世代貧困削減戦略ペーパーである「成長の加速化と持続的開発戦略、2011～2015年」(SCADD)において、教育開発はブルキナファソの経済成長に資する人材育成のための基幹であると位置づけられている。MENAは、2002年に「基礎教育10カ年計画(PDDEB)」を策定し、フェーズ1(2002～2007年)では「教育の量的拡大」に、そしてフェーズ2(2008～2010年)では「教育の質の改善」に重点を置いて取り組んでおり、その目標の1つとして「現職教員研修の強化」も明示している。さらに、現在、最終策定段階の「基礎教育戦略的開発プログラム(PDSEB、2011～2020年)」では、質が高く効果的な教育システムを確立していくことに重点が置かれており、教員研修制度の改善に取り組むとしている。本プロジェクトはこれらの政策に合致するとともに、GAPを中心とした既存の教員研修制度の改善に直接貢献するものである。

(3) 教育セクターに対するわが国及びJICAの援助方針と実績

わが国の対アフリカ支援の基軸である「アフリカ開発国際会議(TICAD)のプロセスにおいて、教育は重点支援項目の1つとされており、2008年5月に採択された「TICAD IV横浜行動計画」では、アフリカにおいて10万人の教員を対象として「理数科教育強化計画(SMASE)プロジェクト」を拡大することが掲げられている。本プロジェクトはその達成に貢献する支援として位置づけられる。また、わが国外務省の対ブルキナファソ事業展開計画において「教育のアクセス向上及び質の改善プログラム」は援助重点分野の1つとなっており、本事業は右プログラムの中核となっている。

(4) 他の援助機関の対応

2007年にPDDEBの実現を支援するドナーの行動規範やPDDEBのモニタリング体制を定める「パートナーシップ枠組」が、わが国を含めたドナー及びブルキナファソ政府間で署名された。

2009年時でブルキナファソの教育セクター予算は約262億円であるがそのうち約3割にあたる80億円程度がドナー予算となっている。ドナーの支援はセクター財政支援[PDDEB実施のためのコモン・バスケット・ファンド(CAST)³への拠出(29億円程度)]とプロジェクト型支援(約29億円)が併存しており、2009年からはFTI(Fast Track Initiative)触媒基金⁴による支援(22億円)も行われている。これらのドナー予算のうち約16%が教育の質の改善に割

³同一の会計に複数の組織が自身の資金を投入して共同で管理し、その会計からプロジェクト経費を支出するなどを行う基金

⁴1990年に提唱された「万人のための教育(Education for All : EFA)」の達成のために、一定の条件を満たした国への援助資金が拡大することを狙った触媒基金

り充てられており、今回プロジェクト内で活用する GAP の実施経費（ブルキナファソ側負担）についても、CAST からの支出が予定されている。

3. 事業概要

(1) 事業目的

本事業は、ブルキナファソの全国公立小学校教員に学習者中心の理数科授業を普及することにより授業の質を改善するものである。具体的には、フェーズ1パイロット県以外の県において中央・地方研修を実施するとともに、全国において教員へのモニタリング・技術支援体制を強化する。また、パイロット県における研修コンテンツ作成メカニズムを構築し、先方政府が全国で自立的に活動を継続する体制づくりへの支援を行う。そして、これらの活動により、GAP など既存の現職教員研修制度を強化し、初等教育理数科における学習者中心の授業の全国普及を図り、授業の質改善に貢献する。

(2) プロジェクトサイト

全国 13 州 45 県

*うち、フェーズ1で対象となった4州4県（カディオゴ県、ウブリテンガ県、サンマテンガ県、トゥイ県）を「パイロット県」とし、一部の試行的取り組みを行う。

(3) 本事業の受益者（ターゲット・グループ）

視学官 約 1,600 名、初等教育教員 約 45,000 名

(4) 事業スケジュール（協力期間）

2011 年 12 月～2015 年 9 月（計 46 カ月）

(5) 総事業費（日本側）

約 2 億 6,000 万円

(6) 相手国側実施機関

国民教育・識字省（MENA）基礎教育総局（DGEB）

(7) 投入（インプット）

1) 日本側

- ・ 専門家 2 名（理数科教育、業務調整/研修計画）
- ・ 短期専門家（必要に応じて。第三国専門家を含む）
（本邦研修及び第三国研修＜必要に応じて。他の研修案件を活用予定＞）
- ・ 機材供与（モニタリング用車両、事務機器、等）
- ・ 中核人材向け研修経費
- ・ 専門家によるモニタリング経費

2) ブルキナファソ国側

- ・カウンターパート
 - － プロジェクト調整官（ナショナルコーディネーター）* MENA スタッフより任命
 - － 中央研修講師（ナショナルトレーナー）* フェーズ1で MENA スタッフより任命済
- ・プロジェクト執務室及び執務室維持経費
- ・研修会場及び研修運営経費
- ・一般教員向け研修経費
- ・ナショナルコーディネーター及びナショナルトレーナーによるモニタリング経費

（8）環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1）環境に対する影響/用地取得・住民移転

①カテゴリ分類 C

②カテゴリ分類の根拠

本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年公布）に掲げる影響を及ぼしやすいセクター・特性及び、影響を受けやすい地域に該当せず、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2）ジェンダー・平等推進/平和構築・貧困削減

案件ではジェンダー視点を踏まえた活動を実施する。

（9）関連する援助活動

1）わが国の援助活動

- ・技術協力プロジェクト「学校運営委員会支援プロジェクト」（2009年11月～2013年10月）により、機能度が高く全国普及可能な学校運営委員会（COGES）モデルが確立されることをめざしており、対象校教員は本事業の受益者でもある。
- ・コミュニティ開発支援無償「第四次小学校建設計画」により中央部地域に小学校を建設中、「第五次小学校建設計画」により南西部及び中央部地域での小学校建設に向けて準備調査を実施中であり、対象校教員は本事業の受益者でもある。
- ・コミュニティ開発支援無償「サヘル地方教員養成校建設計画」（2009年～）により、ブルキナファソ国6校目となる初等教員養成校を建設中であり、養成された教員は将来、本プロジェクトが支援する現職教員研修制度の受益者になる。

2）他ドナー等の援助活動

プロジェクトはGAP代表者を研修するが、そのGAP講習会実施経費はコモン・バスケット・ファンドであるCASTから支出されている（2010/2011学年度現在）。

4. 協力の枠組み

（1）協力概要

- 1）上位目標：全国公立小学生の理数科の学習の質が改善される

指標：プロジェクトで作成する「生徒の学習・活動観察ツール」を用いた生徒の学活動の点数がベースライン調査からエンドライン調査で平均××ポイント向上する⁵。

2) プロジェクト目標：現職教員研修を通じて、全国公立小学校教員の理数科における学習者中心型の授業実践が改善される。

指標：パイロット県/新規県それぞれでの ASEI/PDSI 授業評価ツールを用いた教員の授業の点数がベースライン調査からエンドライン調査で平均〇〇ポイント向上する⁶。

3) 成果及び活動

成果 1：新規対象県の視学官、GAP 代表者、校長、一般教員の理数科における学習者中心アプローチに関する理解が深まる

指標 1-a：新規対象県の 95%以上の視学官が理数科における学習者中心アプローチに関する研修を修了している

指標 1-b：新規対象県の 90%以上の GAP 代表者が理数科における学習者中心アプローチに関する研修を修了している

指標 1-c：学習者中心型アプローチに関する研修において、視学官、GAP 代表者、校長、一般教員の理解度を測るプレテストの点数よりポストテストの点数が平均 1.5 ポイント改善される

指標 1-d：年間 8 回程度の GAP セッションのうち、少なくとも 2 セッションが理数科における学習者中心アプローチに関する活動に割り当てられる

指標 1-e：理数科における学習者中心アプローチを扱う GAP セッションに少なくとも 70%以上の教員が参加している

指標 1-f：理数科における学習者中心アプローチを扱う GAP セッションに参加した教員の理解度を測るプレテストの点数よりポストテストの点数が平均 1.5 ポイント改善される

活動 1-1：視学官の中から新規対象各県の県研修講師が任命される

活動 1-2：新規対象県及びパイロット 4 県においてベースライン調査を行う

活動 1-3：ベースライン調査結果及び活動 3-1 及び 3-2 に基づき研修モジュールの改訂を行う

活動 1-4：ナショナルトレーナーによる視学官向け研修を実施する

活動 1-5：県研修講師による GAP 代表者向け研修を実施する

活動 1-6：サンプル選定した GAP において参加者の理解度を測るプレ/ポストテストを行う

活動 1-7：成果と課題の分析を行うための地方年次レビュー会合を行う

活動 1-8：地方年次レビュー会合の結果に基づき、フォローアップ研修を計画する

活動 1-9：次年度にフォローアップ研修を実施する

成果 2：ナショナルトレーナー及び視学官の理数科における学習者中心アプローチ

⁵××はベースライン調査結果に基づき直後の合同調整委員会(JCC)にて決定する。

⁶〇〇はベースライン調査結果に基づき直後の合同調整委員会(JCC)にて決定する。

に関するモニタリング、技術支援能力が強化される

指標 2-a : 70%以上の視学官が ASEI/PDSI 授業評価ツールを用い、GAP 活動及び教室における理数科における学習者中心アプローチの実践のモニタリングと技術支援を行う

指標 2-b : ナショナルトレーナー及び視学官による助言・支援への校長、一般教員の満足度が改善される

活動 2-1 : プロジェクトによるモニタリングやベースライン調査の結果などを基に、ナショナルトレーナーや視学官の現状、課題、ニーズを把握する

活動 2-2 : ナショナルトレーナー及び県トレーナーのモニタリング、技術支援、研修コンテンツ作成能力強化のためのテクニカルワークショップを行う

活動 2-3 : 新規対象県においてプロジェクトが実施する研修や視学官教授法会議を通じて視学官のモニタリング及び技術支援能力を強化する

活動 2-4 : 必要に応じて国内・第三国における中核人材の能力強化研修を実施・調整する

成果 3 : パイロット 4 県において既存の現職教員研修制度の中に学習者中心アプローチに関する新しい知見を供給するためのメカニズムが構築される。

指標 3-a : 視学官の授業モニタリングと技術支援を通じた知見及び理数科コンテストにおけるグッドプラクティスが記録され関係者に蓄積される

指標 3-b : 蓄積された学習者中心アプローチの知見が、教授法会議やリフレッシュ研修などで、コンテンツとして年間 2 回以上扱われる

活動 3-1 : 活動 1-2 及び 2-1 の結果を通じ、「生徒の学習・活動観察ツール」を開発する

活動 3-2 : 2-2 や 2-3 等の活動の際に、視学官に「生徒の学習・活動観察ツール」の使用法を説明する

活動 3-3 : 視学官の学習者中心アプローチに関するモニタリングや技術支援の知見を視学官教授法会議において集約・共有する

活動 3-4 : 理数科コンテストを行い、現場レベルの知見を集約する

活動 3-5 : 集約された知見をもとに研修のコンテンツを開発する

活動 3-6 : 開発したコンテンツを全教員向け教授法会議及びリフレッシュ研修に提供する

成果 4 : 学習者中心アプローチに関する教員の能力を向上させるためのメカニズムが構築される

指標 4-a : 基礎教育総局内の「教育モニタリング監督課」がプロジェクトで行った活動を継続して実施する

指標 4-b : プロジェクト活動の継続実施に必要な予算が 2015 年度より MENA の経常予算として準備される

活動 4-1 : 初等教員の理数科における学習者中心アプローチ実践能力の改善のための持続的なメカニズム及び必要な予算について、MENA の中央各局と意見交換を行う

活動 4-2 : 活動 4-1 の意見交換により得られた結論をもとに、持続的なメカニズムを構

築し必要な予算措置を行う

活動 4-3 : プロジェクトが行う視学官向け研修に教員養成校 (ENEP) 及び高等師範学校 (ENS/UK) の教官を参加させ能力を強化する

活動 4-4 : 教員養成 (PRESET) 課程における学習者中心アプローチの導入と推進のための技術支援を行う

活動 4-5 : MENA 県局評議会の際に、四半期ごとのプロジェクト活動レビューセッションを実施する

4) プロジェクト実施上の留意点

- ・プロジェクト目標である「現職教員研修を通じた全国公立小学校教員の理数科における学習者中心型の授業実践の改善」には、新規対象県関係者への学習者中心型アプローチの研修 (成果 1) のほか、教員が同アプローチを授業で実践することをモニタリング、技術支援する視学官などの中核人材の育成 (成果 2) が必要である。また、モニタリングや技術支援、そして、リフレッシュ研修 (成果 1 内活動) の質を継続的に改善するためのメカニズムの構築 (成果 3) も重要である。さらに、上位目標の達成には、これらの活動がプロジェクト終了後も継続する仕組みづくり (成果 4) も必要となってくる。
- ・プロジェクトは合同調整委員会 (JCC) の下に実務レベル者によるテクニカルコミッティを設置することを合意している。また、ナショナルコーディネーターが実務レベルのプロジェクト管理を行う。
- ・パイロット 4 県は、成果 4 の新たな知見を蓄積して既存の現職教員研修制度にフィードバックできるメカニズムを構築するモデル県となるとともに、適宜その他の活動においてもフェーズ 1 からの経験を他県にフィードバックすることが期待されるため、プロジェクトはそのフィードバックを調整する必要がある。
- ・現時点で特定していない基準値及び目標値 (指標) は、プロジェクト開始後のベースライン調査に基づいて設定し、プロジェクト開始から半年後をめどに開催する JCC で承認する予定。
- ・プロジェクトの成果、活動を持続的、自立的なものにするため、成果 4 として、プロジェクト終了後はカウンターパート機関の部署がその継続を担当し、それに必要な予算措置を講じることが合意されているが、プロジェクトの活動としても盛り込んだとおり、JCC などの機会に担当部署の人員配置や経常経費としての予算措置の準備について、先方と定期的に確認していく。
- ・日本の事業の見返り資金を活用して「全校長対象研修」を実施する可能性があるため、実施する場合には連携する。

(2) その他インパクト

- ・教員の授業実践が改善され、児童の学習の質が向上することにより、児童の学力が向上することが期待される。
- ・先方政府はプロジェクト成果を新規教員養成（PRESET）課程へ反映させたいという意向をもっている。PRESET 教官についてはプロジェクト研修に参加させる予定であるため、PRESET 課程や昇任試験・昇任後研修に学習者中心アプローチが組み込まれる可能性がある。

5. 前提条件・外部条件（リスク・コントロール）

(1) 事業実施のための前提

- ・MENA の現職教員研修に関する方針・制度が大きく転換しない
- ・他ドナーによるコモン・バスケット・ファンド等への支援が継続され、教育開発予算が大きく減少しない

(2) 成果達成のための外部条件

MENA の人員・予算体制が著しく悪化しない。

(3) プロジェクト目標達成のための外部条件

能力強化を行ったナショナルトレーナー、視学官、GAP 代表者、教師が大量に異動しない。

(4) 上位目標達成のための外部条件

教員の授業実践環境、生徒の学習環境が著しく悪化しない。

6. 評価結果

本事業は、ブルキナファソ国の開発政策、開発ニーズ、日本の援助政策と十分に合致しており、また、計画の適切性が認められることから、実施の意義は高い。

7. 過去の類似案件の教訓と本事業への活用

(1) フェーズ 1 でも既存の GAP 等のシステムを最大限活用することでプロジェクトの有効性及び効率性の向上が認められたため、引き続き同様な活用を行うことを本プロジェクトに盛り込んでいる。

(2) 本プロジェクトでは、フェーズ 1 の終了時評価においても提案された、更なる既存の現職教員研修（例えば、年 1 回開催の全教員向け教授法会議）の活用が計画に盛り込まれており、さらにプロジェクトがモデルとして示す活動を MENA の現職教員研修担当部局が引き継いでいくことが合意されている。

8. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる主な指標

4. (1) のとおり。

(2) 今後の評価計画

2012年3月ころ ベースライン調査

2013年11月 中間レビュー

2015年4月 終了時評価

2018年9月 事後評価

第4章 評価結果詳細

4-1 妥当性

本案件は、以下の理由から妥当性が高いと判断される。

(1) 国家政策との整合性

- 1) 「基礎教育 10 年計画 (PDDEB) フェーズ 2 (2008～2010 年)」及び現在策定中の「基礎教育戦略的開発プログラム (PDSEB) (2011～2020 年)」ともに教育の質の向上及び、現職教員研修の重要性が謳われている。
- 2) 本プロジェクトが強化する GAP などの現職教員研修は省令として既に規程されている。

(2) 日本の支援の方向性との整合性、日本の技術協力の比較優位

- 1) 基礎教育及び教員研修に対する支援は、わが国の対ブルキナファソ国支援方針に沿ったものである。特に、教員研修に関しては TIVAD IV の公約 (アフリカの教員 10 万人に対して理数科研修を拡大する) 達成に貢献するものである。
- 2) JICA は理数科分野の現職教員研修に関する数多くの経験を、特に ASEI/PDSI アプローチとアフリカ地域で有しているとともに、アフリカ各国 (ブルキナファソ国含む) が加盟する理数科教育強化アフリカ域内ネットワーク (SMASE-WECSA) を構築している。
- 3) 本プロジェクトの中心的な人材であるプロジェクトカウンターパート及び中央研修講師は、本邦及び第三国 (ケニア) において、日本の現職教員研修制度や理数科教授法に関する研修を受講しているため、本プロジェクトの実施を通じて同研修で得た日本の知見を活用できる。

(3) 現地ニーズとの整合性/必要性

- 1) “Etude PASEC Burkina Faso” (2009 年 9 月) によると、2007 年の算数の結果は 1996 年よりも低くなっており (<2 年生>1996 年 : 53.2 点→2007 年 : 34 点、<5 年生>1996 年 : 45.8 点→2007 年 : 36.8 点)。また、理科の成績に関しても、2006～2007 学年度の 5 年生の点数の平均は、50.0 点、2007～2008 学年度の 4 年生の点数の平均は 46.4 点と、いずれも低い水準にとどまっている状況であり (MENA が行っている「学習習熟度調査」)、算数・理科の指導力、学力強化の必要性は非常に高い。
- 2) フェーズ 1 にて、ブルキナファソの教員は、学習者中心型の教授法を理論的には理解しているものの、その実践方法が分からないという問題を抱えており、ASEI/PDSI アプローチを通じた学習者中心型教授法の具体的実践方法については教員からの評判は高かった⁷。

⁷プロジェクトフェーズ 1 では、加減法の指導の際にそろばんを活用することや、図形の単元において新聞紙を折り紙として活用することなど提唱したところ、多くの教員が教室で実践し、授業の要点の具体化、生徒の積極的な授業への参加を通じた授業内容理解の明確化に寄与したとの報告があった。

(4) 手段としての妥当性

- 1) 本プロジェクトは、フェーズ1のパイロット4県の成果を全国に拡大するものであり、フェーズ1でも妥当性や同様の目標の達成が確認されているとともに、本プロジェクトのアプローチについては全国展開のために、中核人材育成、実践の更なる改善のためのパイロット4県での新たなメカニズム構築、INSET制度の更なる強化が盛り込まれているため、アプローチは適切である。
- 2) 本プロジェクトが活用するGAPの実施経費は他ドナーが支援するコモン・バスケット・ファンド(CAST)から支出されているため、相乗効果が見込まれる。

4-2 有効性

本案件は、次のような理由から有効であると判断される。

(1) プロジェクト目標の適切さ

- 1) プロジェクト目標は、「現職教員研修を通じて、全国公立小学校教員の理数科における学習者中心型の授業実践が改善される」であり、フェーズ1のパイロット4県の成果を全国に拡大するものであり、フェーズ1でも対象地域は4県のみにおいて同様の目標の適切さが確認されている。
- 2) 授業実践の具体的改善方法であるASEI/PDSIの授業評価ツールはSMASE-WECSA内で授業実践の改善度の確認のために広く活用されており、フェーズ1でも既に使用している。また、指標の達成レベルはフェーズ1と同様にベースライン調査にて設定し、エンドライン調査も行うため、指標の内容や入手手段は適切である。

(2) 外部条件

ブルキナファソ国の教員、視学官の給与は他の公務員と比較しても良いため、彼らの大量異動は想定されない。

4-3 効率性

本プロジェクトは次の理由により効率性が高いと判断される。

(1) アウトプットの内容

- 1) 成果1の視学官等の理解促進については実際にプレポストテストを実施し、成果2の中核人材の支援能力向上では具体的に支援を受ける側の満足度を図る。成果3の学習者中心アプローチに関する知見の蓄積・共有メカニズム構築に関しても実際に知見がコンテンツとして開発され会議等で使用しているかを確認し、成果4の本プロジェクト活動の継続メカニズムの構築では実際に実施体制や予算が策定されることが明記されている。そのため、成果指標の内容と入手手段は適切である。

(2) 既存の現職教員研修制度とプロジェクトフェーズ1の知見の活用

- 1) ブルキナファソ既存の現職教員研修制度であるGAP活動の活用に加え、教授法会議やリフレッシュ研修といった、全教員を対象とした既存の現職教員研修においてテーマを扱うこと、視学官のももとの日常業務であるM&Eや技術支援に、理数科における学習者中心型アプローチという視点を加えることにより、新たな投入や各アクターの業務を増や

すことなく SMASE が提唱する ASEI/PDSI アプローチに関する教員の理解と実践の改善が図られる。

- 2) 新規対象地域について、中核人材である視学官向け研修予算については JICA が負担、GAP 代表者などの校長や一般教員の研修予算に関してはブルキナファソ側が負担する。
- 3) プロジェクトフェーズ 1 と同様、研修会場は既存の教員養成校、県レベルの研修所を中央研修センター及び地方研修センターとして利用するため、新規の研修施設建設の必要はない。

(3) SMASE-WECSA 及び西アフリカ仏語圏により蓄積された知見の共有

- 1) JICA はアフリカ地域で理数科分野への協力経験を蓄積しており、ケニア SMASSE を中心としてアフリカ域内協力を展開している、プロジェクトフェーズ 1 においては、ケニア人専門家派遣や第三国研修などの既存の知識・経験ネットワークを最大限活用することで、日本側からの投入量を抑えながら効率的にプロジェクト実施における中核人材を育成することができた。プロジェクトフェーズ 2 においては、フェーズ 1 の活動における中核人材とその蓄積された知見をもとに新規対象地域への展開を効率的に実施していく。
- 3) プロジェクトフェーズ 2 においては、SMASE-WECSA ネットワークに加え、セネガルやニジェールなど、西アフリカ仏語圏域内独自の経験共有や短期専門家の相互派遣などが見込まれることから、効率的に質の高い研修実施を担保することができる。

(4) タイミング

- 1) 本プロジェクトは既存の現職教員研修を活用するとともに、PO はブルキナファソ国政府の予算策定や既存の現職教員研修関連活動の時期などを踏まえて策定されている。また、プロジェクト開始時にベースライン調査を行い現状・課題を再整理したうえで、各種活動を行うため、プロジェクトの投入のタイミングは適切である。

4-4 インパクト

本プロジェクトのインパクトは以下のように予測できる。

(1) 上位目標の設定と達成可能性

- 1) 上位目標「全国公立小学生の理数科の学習の質が改善される」を達成するためには、プロジェクト終了後も、教員向けリフレッシュ研修などの既存の現職教員研修制度や GAP 活動及び教室レベルにおける実践に関するモニタリングやフィードバックが必要であるが、本プロジェクトではこれらを強化するとともに、プロジェクト終了後も継続させるための支援体制を整えるため、上位目標を達成することが期待できる。
- 2) さらに、成果 3 のパイロット 4 県で構築される新たな仕組み（理数科コンテストの実施視学官の M&E や技術支援の知見の集約をもとに、教授法会議など既存の現職教員研のテーマやコンテンツを作成し研修を行うことなど）を全国に紹介する。パイロット 4 県以外を対象としていないフェーズ 1 でも、4 県での活動を他県関係者が認識し、ASEI/PDSI アプローチの概要に関する問い合わせがあったため、4 県以外でも新たな仕組みづくり以外を行う。

本フェーズでは 4 県での新たな仕組みが地域的な広がりをもつことが予想され、上位目

標の達成見込みが更に高まる。

- 3) 上位目標を測るための「生徒の学習・活動観察ツール」はプロジェクト期間中に開発し数年程度使用・改訂を行うとともに、上位目標の指標である同ツールを使用して採点する「生徒の学習・活動の点数」はベースライン調査による現状分析に基づき設定するとともに、エンドライン調査を行い、入手することから、指標の設定は適切である。

(2) スーパーゴールの達成見込み

- 1) プロジェクトフェーズ 1 においては、小学校卒業試験の合格率や理数科目の点数という面では大きな改善は見られないものの、関係者への聞き取り調査を通して生徒の理数科授業における変化（積極性の高まり、思考力・創造力・発表力の強化など）が確認されている。また、本プロジェクトでは、フェーズ 1 の教員の実践改善に加えて、生徒の学習改善というプロセスを上位目標として設定しており、その視点を活動に盛り込むとともに評価ツールを開発・使用するため、生徒の学習への効果をより期待でき、生徒の学力向上につながることを期待される。

(3) 他教科への ASEI/PDSI の適用可能性

裨益者である小学校教員は理数科以外も担当しており、ASEI/PDSI は理数科に限定しない教授法のため、他教科への適用も期待される。

(4) 教員養成課程（PRESET）への ASEI/PDSI の適用可能性

初等教員養成校教官も研修に参加するため、PRESET への ASEI/PDSI の適用も期待される。

4-5 自立発展性

本プロジェクトは以下の理由から自立発展性が見込まれる

(1) 政策面

上述のとおり PDDEB、PDSEB ともに現職教員研修が重視されているため、プロジェクトの活動に対する政策レベルの継続的なコミット面は確保される見込みが高い。

(2) 組織・制度面

- 1) フェーズ 1 以前から GAP は省令で規程されており、また PDDEB レビューレポート等でも「GAP は現職教員研修の中核をなす」と記載されていることから、GAP そのものはプロジェクト終了後も残り続ける。また、プロジェクトは全教員を対象とした教授法会議、リフレッシュ研修などの既存の INSET も活用する。
- 2) また、中核的な役割を果たした視学官は、本来業務として GAP に対する技術支援や学校へのモニタリングを行っていることから、プロジェクト終了後も同様の役割を果たすことが期待できる。
- 3) 中央の実施体制についても、プロジェクト終了後を見越して、現職教員研修の責任部署である基礎教育総局（DGEB）がプロジェクト期間中から関わり、プロジェクト終了後も関わるということが討議議事録で確認されている。

(3) 財政面

- 1) GAP 活動のための予算はコモンファンド (CAST) を資金源に MENA の采配により捻出されており、MENA は引き続き GAP 活動を現職教員研修制度の中核と位置づけ、予算配分も継続していく姿勢を示している。
- 2) 視学官/教育アドバイザーによる GAP や学校に対するモニタリングにかかる経費については、MENA の経常経費に計上されていることから、引き続き確保される見込みである。
- 3) プロジェクト終了後の活動継続のための予算措置が行われることが成果指標の 1 つとなっている。また、R/D に日本・ブルキナファソ国側双方の予算分担表が R/D に添付されており、経常経費は主にブルキナファソ国側負担となっており、またプロジェクト期間中にブルキナファソ国側負担が増加するようになっている。
- 4) そして、これらの財政面はフェーズ 1 とほぼ同様であり、フェーズ 1 では大きな問題はなかった。

(4) 技術面

- 1) プロジェクト期間中は、ナショナルトレーナーから GAP 代表者までのカスケード型研修をパイロット 4 県以外の全国に順次拡大して集中的に行い、ASEI/PDSI アプローチの基礎を全国に普及する。その後各教育行政区に配置されている視学官が GAP 内や教室でのアプローチ実践をフォロー/モニタリングしていく。また、プロジェクト終了後も、既存の現職教員研修の枠組みである視学官教授法会議を活用し、ナショナルトレーナーと視学官が、教育現場で収集したグッドプラクティスを中心とした新しい知識を更新していく。さらに、既存の現職教員研修制度 (リフレッシュ研修などの視学官による全教員向け研修及び GAP 活動など) は、中央から全教員を対象とするカスケード研修の形を取るため、これを活用することで、ASEI/PDSI アプローチに関する一定の知識・実践の蓄積を自立・発展させることが見込める。
- 2) さらに、フェーズ 1 から試行され、プロジェクト終了後も続くことが確認されている理数科コンテストの定期的な実施により、現場レベルのグッドプラクティスを全国レベルで集約し、それをブルキナファソ既存の現職教員研修システムを通じ全教員が共有することで、ASEI/PDSI の実践について、ブルキナファソ独自の方法を構築していく自立的な仕組みが構築される。

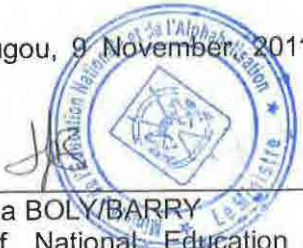
付 属 資 料

- 1 討議議事録、R/D（英語）
- 2 討議議事録、R/D（仏語）

RECORD OF DISCUSSIONS
ON
THE PROJECT OF TEACHERS TRAINING IMPROVEMENT IN
SCIENCE AND MATHEMATICS AT THE PRIMARY LEVEL
PHASE II (SMASE – BURKINA FASO II)
IN
BURKINA FASO
AGREED UPON BETWEEN
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
BURKINA FASO
AND
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

Ouagadougou, 9 November 2011


Mr. Yuji MORIYA
Chief Representative
JICA Burkina Faso Office
Japan International Cooperation Agency
Japan


Ms. Koumba BOLDY/BARRY
Minister of National Education and
Literacy
Burkina Faso


Mr. Lucien Marie Noël BEMBAMBA
Minister of Economy and Finance
Burkina Faso

Based on the minutes of meeting on the Detailed Planning Survey on the Project of Teachers Training Improvement in Science and Mathematics at the Primary Level Phase II (SMASE – Burkina Faso II) (hereinafter referred to as “the Project”) signed on September 9th, 2011 between Ministry of National Education and Literacy (hereinafter referred to as “MENA”) and the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”), JICA held a series of discussions with MENA and relevant organizations to develop a detailed plan of the Project.

Both parties agreed the details of the Project and the main points discussed as described in the Appendix 1 and the Appendix 2 respectively.

Both parties also agreed that MENA, the counterpart to JICA, will be responsible for the implementation of the Project in cooperation with JICA, coordinate with other relevant organizations and ensure that the self-reliant operation of the Project is sustained during and after the implementation period in order to contribute toward social and economic development of Burkina Faso.

The Project will be implemented within the framework of the Note Verbale exchanged on April 20th, 2010 between the Government of Japan (hereinafter referred to as “GOJ”) and the Government Burkina Faso.

Appendix 1: Project Description

Appendix 2: Main Points Discussed

6

13

JB

PROJECT DESCRIPTION

I. BACKGROUND

Burkina Faso has challenges on the student's achievement especially on science and mathematics at primary education level and teachers' quality along with the shortening of the pre-service training period from 2 years to 1 year since 2002. Aligned to "10-Year Basic Education Development Plan (PDDEB) in Burkina Faso emphasizing the quality of education, MENA had implemented the SMASE – Burkina Faso Phase I project from January 2008 to January 2011 supported by JICA. Toward the improvement of teachers' pedagogical practices in science and math through INSET on a basis of ASEI-PDSI approach (Activity, Student-centered, Experiment, Improvisation-Plan, Do, See, Improvement), the project established a training structure and developed training contents and the capacities of the national and local trainers, inspectors and GAP representatives in the 4 pilot provinces (Kadiogo, Oubritenga, Sanmatenga, and Tuy).

Since the Government of Burkina Faso highly appreciated the progress and results of the project, it requested the project phase II to expand the results to other provinces as well as to strengthen the implementation structure and capacity.

Therefore, JICA dispatched the Detailed Planning Survey Mission to agree the framework of the project phase II in September 2011.

II. OUTLINE OF THE PROJECT

Details of the Project are described in the Logical Framework (Project Design Matrix: PDM) (Annex 1) and the tentative Plan of Operation (Annex 2).

1. Input

(1) Input by JICA

(a) Dispatch of Experts

1) Japanese Long Term Experts

-Monitoring and Evaluation/ Coordination

-Pedagogy of Mathematics and Science Education

2) Short term Experts / Third Country Experts (If necessary)

(b) Training

-Training in third countries or in Japan

-Training for inspectors

-Workshop of National Trainers and Provincial Trainers

(c) Machinery and Equipment

1) Desk top computers

2) Lap top computers

- 3) Printers
- 4) Digital cameras
- 5) Video Cameras
- 6) Vehicle 4WD for monitoring

In case of importation, the machinery, equipment and other materials under II-1 (1) (c) above will become the property of the MENA upon being delivered C.I.F. (cost, insurance and freight) to the Burkina Faso authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation.

Input other than indicated above will be determined through mutual consultations between JICA and MENA during the implementation of the Project, as necessary.

(2) Input by MENA

The Government of Burkina Faso will take necessary measures to provide at its own expense:

- (a) Services of MENA's counterpart personnel and administrative personnel as referred to in II-2;
- (b) Suitable office space with necessary equipment;
- (c) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the equipment provided by JICA;
- (d) Identification cards;
- (e) Available data (including maps and photographs) and information related to the Project;
- (f) Running expenses necessary for the implementation of the Project;
- (g) Expenses necessary for transportation within Burkina Faso of the equipment referred to in II-1 (1) (c) as well as for the installation, operation and maintenance thereof; and
- (h) Necessary facilities to the JICA experts for the remittance as well as utilization of the funds introduced into Burkina Faso from Japan in connection with the implementation of the Project

2. Implementation Structure

The Project organization chart is given in the Annex 4. The roles and assignments of relevant organizations are as follows:

(1) MENA

- (a) The Secretary General will be responsible for overall administration and implementation of the Project.
- (b) The National Coordinator nominated by MENA will be responsible for daily administration and implementation of the Project.
- (c) Local Coordinators are appointed by the Regional Department of Basic Education and Alphabetization (DREBA) of the Project areas upon proposal of the Provincial Department of Basic Education and Alphabetization

f

13

✱

(DPEBA). They report to the National Coordinator on the activities of the Project in their respective areas.

(d) The National Trainer Team consists of the inspectors and specialists on math and science education.

The National Trainer Team is in charge of;

- Defining the annual work plan
- Conducting training at the central level
- Conducting the monitoring and evaluation of the Project
- Providing support to the Local Trainers.

(e) Provincial Trainer Teams are established by DPEBA in the Project intervention areas. Each team is composed of five (5) trainers.

The Provincial Trainer Teams have the following functions:

- To conduct training at local level;
- To conduct sensitization activities for the stakeholders of the education system in their respective areas.
- To conduct the monitoring and evaluation of the Project in their respective areas.
- To provide support to the representatives of GAPs.

(f) Technical Committee

The Technical Committee is established to reflect on the issues related to the good progress of the Project activities. It analyses the results and planning of the training to give some proposition to improve the activities

(2) JICA Experts

The JICA experts will give necessary technical guidance, advice and recommendations to MENA on any matters pertaining to the implementation of the Project.

(3) Joint Coordinating Committee

Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "JCC") will be established in order to facilitate inter-organizational coordination. JCC will be held at least two times a year and whenever deems it necessary. JCC will approve an annual work plan, review overall progress, conduct monitoring and evaluation of the Project, and exchange opinions on major issues that arise during the implementation of the Project. A list of proposed members of JCC is shown in the Annex 5.

3. Project Site(s) and Beneficiaries

The target area is the whole country. 41 newly targeted provinces will be divided into 3 groups and have the cascade training one after the other

The beneficiary is all the science and mathematics teachers in all the public elementary schools.

4. Duration

December, 2011 to September, 2015

5. Environmental and Social Considerations

MENA agreed to abide by 'JICA Guidelines for Environmental and Social

Considerations' in order to ensure that appropriate considerations will be made for the environmental and social impacts of the Project.

III. UNDERTAKINGS OF MENA AND THE GOVERNMENT OF BURKINA FASO

1. The Government of Burkina Faso will take necessary measures to:

- (1) ensure that the technologies and knowledge acquired by the Burkina Faso nationals as a result of Japanese technical cooperation contributes to the economic and social development of Burkina Faso, and that the knowledge and experience acquired by the personnel of Burkina Faso from technical training as well as the equipment provided by JICA will be utilized effectively in the implementation of the Project; and
- (2) grant privileges, exemptions and benefits to the JICA experts referred to in II-1 (2) above and their families, which are no less favorable than those granted to experts and members of the missions and their families of third countries or international organizations performing similar missions in Burkina Faso.

2. The Government of Burkina Faso will take necessary measures to:

- (1) provide security-related information as well as measures to ensure the safety of the JICA experts; and
- (2) permit the JICA experts to enter, leave and sojourn in Burkina Faso for the duration of their assignments therein and exempt them from foreign registration requirements and consular fees.

IV. EVALUATION

JICA and MENA will jointly conduct the following evaluations and reviews.

1. Mid-term review at the middle of the cooperation term
2. Terminal evaluation during the last six (6) months of the cooperation term

JICA will conduct the following evaluations and surveys to mainly verify sustainability and impact of the Project and draw lessons. MENA is required to provide necessary support for them.

1. Ex-post evaluation three (3) years after the project completion, in principle
2. Follow-up surveys on necessity basis

V. PROMOTION OF PUBLIC SUPPORT

For the purpose of promoting support for the Project, MENA will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of Burkina Faso.

VI. MUTUAL CONSULTATION

JICA and MENA will consult each other whenever any major issues arise in the

course of Project implementation.

VII. AMENDMENTS

The record of discussions may be amended by the minutes of meetings between JICA and MENA.

The minutes of meetings will be signed by authorized persons of each side who may be different from the signers of the record of discussions.

- Annex 1 Logical Framework (Project Design Matrix:PDM)
- Annex 2 Tentative Plan of Operation
- Annex 3 Structure of the Cascade Training
- Annex 4 Project Organization Chart
- Annex 5 Roles of Various Structures
- Annex 6 Budget Estimation

f

B

JP

MAIN POINTS DISCUSSED

1. The Project generalizes ASEI/PDSI approach in the whole country through cascade training of the Project. The cost of the trainings for the inspectors is mainly charged on JICA. The cost of the trainings for GAP representatives is charged on MENA.
2. The Project offers the training contents concerning learner centered approach and the technical support to the existent INSET like the Pedagogical Conference and the Refresh Training, etc.
3. The Project develops the system for the accumulation of good practices and experiences at the level of the fields (schools, classes) through the monitoring of inspectors and "Olympic".
4. The Project reinforces the capacities of national trainers and inspectors in monitoring, giving the technical assistance for teachers, and developing of training contents with the application of the accumulated good practices and experiences
5. The Project attempts to establish the interactive mechanism between the central level and the school level using the existing INSET to share good practices and experiences with all the school teachers.
6. For the sustainability, after the Project, the sections of DDEB/DGEB which are in charge of implementation and management of INSET will continue the activities mentioned above, and necessary human and financial resource will be mobilized for the activities.

f

13

JP

Logical Framework (Project Design Matrix:PDM)

Title of Project: Project of Teachers Training Improvement in Science and Mathematics at the Primary Level Phase II (SMASE-BURKINA FASO II)				
Duration : 2011.12-2015.9				
Target area: All regions of Burkina Faso				
Target Group : Primary school teachers (including school directors), Inspectors, ENEP's trainers				
Project Summary	Objectively verifiable Indicators	Means of verification	Important assumptions	
<p>Super goal : The students' academic performances of math and science in all public elementary schools in Burkina Faso are improved</p>	<p>Results /performance in math and science of intermediate class students at the CEP exam or academic ability evaluation or PASEC</p>	<p>Report of CEP exam or academic ability evaluation or PASEC report</p>		
<p>Overall goal: Students' learning in math and science classes in all public elementary schools in Burkina Faso is improved</p>	<p>Students' learning in math and science classes obtains an average of XX* points in the evaluation with monitoring and evaluation tools for students' activities and learning</p>	<p>Reports of baseline and end-line survey (M & E reports of math and science classes collected by inspectors)</p>	<p>Elements for the improvement of the students' learning and academic performances are not aggravated significantly (Reduction of school hours etc.)</p>	
<p>Project purpose : Teachers' pedagogical practices of learner centered approach in classes of math and science in all public elementary schools are improved through INSET</p>	<p>Teachers' pedagogical practices of learner centered approach in classes of math and science are improved on the average of XX* percent in four pilot provinces and XX • percent in newly targeted provinces comparing to the baseline survey using ASE/PDSI lesson observation tool</p>	<p>Reports of baseline survey and end line survey (M & E reports of math and science classes collected by inspectors)</p>	<p>School circumstances for the teaching practices and the students' learning are not aggravated significantly (-The number of students per teacher, per class, per textbook don't increase sharply -School hours don't decrease sharply due to the strike of teachers, etc.)</p>	

*The indicators will be determined on the basis of the results of the Base line survey

6

13

<p>Output 1. In the new targeted provinces, the comprehensions of inspectors, GAP representatives, school directors and teachers about learner centered approach are improved</p>	<p>1-a 95 percent of inspectors in the targeted provinces are trained on the concept of learner centered approach in math and science at the national training</p> <p>1-b 90 percent of GAP representatives are trained on the concept of learner centered approach in math and science at the provincial training</p> <p>1-c Results of Pre- and Post- Test of the trainings of learner centered approach in math and science are improved on the average of 1.5 points</p> <p>1-d At least 2 sessions of GAP per year are allocated to the activities of learner centered approach in math and science</p> <p>1-e At least 70 percent of teachers participate at the sessions of learner centered approach in math and science of GAP.</p> <p>1-f Results of Pre- and Post- Test of the sessions of learner centered approach in math and science of GAP are improved on the average of 1.5 points</p>	<p>1-a/b/c Progress reports of the Project (Report of each training)</p> <p>1-d/e General report of GAP activities collected by DPEBA</p> <p>1-f Report of pre- and post- tests of selected GAPs</p>	<ul style="list-style-type: none"> • School circumstances for the teachers' pedagogical practices in the class are not aggravated significantly (-The number of students per teacher, per class, per textbook don't increase sharply -School hours don't decrease sharply due to the strike of teachers, etc.) • Many of the trained NTs, inspectors and teachers don't leave their posts • Conditions of monitoring and technical assistance by the inspectors are not aggravated significantly • Jurisdiction of DGEB relative to the Project activities doesn't change radically
<p>Output 2 Capacities of national trainers and inspectors for monitoring and technical assistance for the practice of learner centered approach in math and science are reinforced</p>	<p>2-a At least 70 percent of inspectors give the monitoring and technical assistance for the GAP activities and teachers' practices of the approach in the class rooms, using ASEI/PDSI lesson observation tool</p> <p>2-b Satisfaction of teachers and principals with the advices and assistances provided by national trainers and inspectors are increased</p>	<p>2-a Progress report of the Project (Reports of monitoring and evaluation of math and science classes by the inspectors)</p> <p>2-b Progress report of the Project (Questionnaire for teachers and principals)</p>	

f

13

<p>Output 3 A mechanism which ensure the provision of new knowledge and experiences about learner centered approach in math and science is established in the existing system of INSET in the four pilot provinces</p>	<p>3-a Knowledge and experiences through monitoring and technical assistance by inspectors and good practices collected during Olympic of math and science are accumulated 3-b Accumulated knowledge and experiences of learner centered approach in math and science are provided as the theme or contents for the pedagogic conference and/or refresher training at least two times during the Project.</p>	<p>3-a/b Report of the of the existing INSET by DDEB.</p>	
<p>Output 4 The mechanism which improve the teachers' pedagogical practices of learner centered approach in math and science is established</p>	<p>4-a The service of monitoring of pedagogical supervision within DGEB continues the Project activities and the necessary financial resources are planned in the operating budget of MENA from the year of 2015</p>	<p>4-a –Action plan of DDEB /DGEB</p>	

Handwritten mark

B

f

ACTIVITIES	INPUT		Important assumptions
	JAPAN	BURKINA FASO	
<p><Activities for output 1 ></p> <p>1-1 Appoint provincial trainers of each province</p> <p>1-2 Conduct the baseline survey to obtain the needs and difficulties of teachers and students in the newly targeted provinces and four pilot provinces</p> <p>1-3 Revise the modules of the training on the basis of the result of the baseline survey and activities 3-1 and 3-2</p> <p>1-4 Organize trainings for inspectors</p> <p>1-5 Organize trainings for GAP representatives by the provincial trainers</p> <p>1-6 Conduct the Pre- and Post- tests of sessions of learner centered approach in math and science with sample GAPs</p> <p>1-7 Organize the regional annual review sessions to analyze the difficulties and outcomes</p> <p>1-8 Plan the follow-up training on the basis of the results on the review session</p> <p>1-9 Organize the follow-up training in the following year.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Long term experts • Short term experts (If necessary) • Necessary equipment for the Project • Necessary materials and equipment for trainings • Training in third countries and/or Japan • Expenses for training for inspectors and trainers of ENEP • Expenses for the monitoring by the JICA experts 	<ul style="list-style-type: none"> • Counterparts • National trainers • Project office and functional expenses • Training venues • Expenses for training for GAP representatives • Expenses for the monitoring by coordinator and national trainers 	<ul style="list-style-type: none"> • GAP activities don't change significantly • The teachers' salary doesn't significantly decrease. • MENA's structure of personnel and budget don't change significantly
<p><Activities for output 2 ></p> <p>2-1 Grasp the actual situations, difficulties, and needs of national trainers and inspectors through the monitoring of the Project and the results of the baseline survey and so on</p> <p>2-2. Organize the technical workshops to reinforce the capacities of national trainers and provincial trainers for the monitoring, technical assistance, and development of contents of the SMASE training</p> <p>2-3. Reinforce the capacities of inspectors in newly targeted provinces for the monitoring and technical assistance through the trainings of 1-4 and pedagogical conference for the inspectors</p> <p>2-4. Organize other trainings in Burkina Faso and coordinate overseas trainings to reinforce the capacities of national trainers and inspectors if needed</p>			

+

B

B

<p><Activities for output 3 ></p> <p>3-1 Develop the observation tool of the students' activities in class through the results of activities 1-2 and 2-1</p> <p>3-2 Explain the utilization of the observation tool of students' activities in class to inspectors at training of 2-2 and 2-3, etc</p> <p>3-3 Accumulate and share the knowledge and experiences of monitoring and technical assistance for learner centered approach in math and science at the pedagogical conference for the inspectors</p> <p>3-4 Organize the "Olympic" of math and sciences to accumulate the experiences of the field level</p> <p>3-5 Develop the contents of the training on the basis of the accumulated knowledge and experience through activities 3-3 and 3-4</p> <p>3-6 Provide the contents for the Pedagogical Conferences and/or Refresher Training for teachers</p>	
<p><Activities for result 4 ></p> <p>4-1 Discuss the ideas of the sustainable mechanism, the necessary financial resources for the improvement of the capacities of primary school teachers for practicing learner centered approach with the central directions of MENA</p> <p>4-2 Implement the conclusion issued from the discussions with central directions of MENA about the ideas of the sustainable mechanism and necessary financial resources</p> <p>4-3 Reinforce the capacities of trainers of ENEP and trainers of ENS/UK through national training</p> <p>4-4 Provide the technical assistances for the introduction and promotion of learner centered approach in math and science into the PRESET program</p> <p>4-5 Set up the quarterly review session of SMASE activities during the council meetings of departments in each province</p>	<p>Preconditions</p> <ul style="list-style-type: none"> • MENA's INSET strategies like the promotion of learner centered approach doesn't change significantly • The actual system of INSET like GAP activities and Pedagogical Conference doesn't change significantly • Financial support for GAP continues

6

3

Tentative Plan of Operation

ANNEX 2

Japanese fiscal year	2011				2012				2013				2014				2015											
Year	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Month (project period is colored)	[Color-coded grid]																											
Month (school year is colored)	[Color-coded grid]																											
Calendar of activities of MENA	[Color-coded grid]																											
Pedagogical Conference of inspectors	[Color-coded grid]																											
Pedagogical Conference of teachers	[Color-coded grid]																											
Evaluation mission of MENA and PTF	[Color-coded grid]																											
Request of budget	[Color-coded grid]																											
CEP	[Color-coded grid]																											
Project activities	[Color-coded grid]																											
Annual review	[Color-coded grid]																											
National Steering Committee (JCC)	[Color-coded grid]																											
Technical Committee	[Color-coded grid]																											
Study, M/E	[Color-coded grid]																											
Project evaluation	[Color-coded grid]																											
Output 1. In the new targeted provinces, the comprehensions of inspectors, GAP representatives, and teachers about learner centered approach are improved																												
1-1 Appoint provincial trainers of each province	[Color-coded grid]																											
1-2 Conduct the baseline survey to obtain the needs and difficulties of teachers and students in the newly targeted provinces and four pilot provinces	[Color-coded grid]																											
1-3 Revise the modules of the training on the basis of the result of the baseline survey and activities 3-1 and 3-2	[Color-coded grid]																											
1-4 Organize trainings for inspectors	[Color-coded grid]																											
1-5 Organize trainings for GAP representatives by the provincial trainers	[Color-coded grid]																											
1-6 Conduct the Pre- and Post- Tests of sessions of learner centered approach in math and science with sample GAPs	[Color-coded grid]																											
1-7 Organize the regional annual review sessions to analyze the difficulties and outcomes	[Color-coded grid]																											
1-8 Plan the follow-up training on the basis of the results on the review session	[Color-coded grid]																											
1-9 Organize the follow-up training in the following year.	[Color-coded grid]																											
Output 2. Capacities of national trainers and inspectors for monitoring and technical assistance for the practice of learner centered approach in math and science are reinforced																												
2-1 Grasp the actual situations, difficulties, and needs of national trainers and inspectors through the monitoring of project and the results of baseline survey and so on	[Color-coded grid]																											
2-2 Organize the technical workshops to reinforce the capacities of national trainers and local trainers for the monitoring, technical assistance, and development of contents of the SMASE training	[Color-coded grid]																											
2-3 Reinforce the capacities of inspectors in newly targeted provinces for the monitoring and technical assistance through the training of 1-4 and pedagogical conference for the inspectors	[Color-coded grid]																											
2-4 Organize other domestic trainings and coordinate overseas trainings to reinforce the capacities of national trainers and inspectors if needed	[Color-coded grid]																											
Output 3. A mechanism which ensures the provision of new knowledge and experiences about learner centered approach in math and science is established in the existing system of INSET in the four pilot provinces																												
3-1 Develop the observation tool of the students' activity in class through the results of activities 1-2 and 2-1	[Color-coded grid]																											
3-2 Explain the utilization of the observation tool of students' activity in class to inspectors at training of 2-2 and 2-3, etc	[Color-coded grid]																											
3-3 Accumulate and share the knowledge and experiences of monitoring and technical assistance for learner centered approach in math and science at the pedagogical conference for	[Color-coded grid]																											
3-4 Organize the Olympic of math and sciences to accumulate the experiences of the ground level	[Color-coded grid]																											
3-5 Develop the contents of the training on the basis of the accumulated knowledge and experience through activities 3-3 and 3-4	[Color-coded grid]																											
3-6 Provide the contents for the Pedagogical Conferences and/or Refresher Training for teachers	[Color-coded grid]																											
Output 4. The mechanism which improves the teachers' capacities of pedagogical practices of learner centered approach in math and science is established																												
4-1 Discuss the ideas of the sustainable mechanism, the necessary financial resources for improvement of the capacities of primary school teachers for practicing learner centered approach with the central directions of MENA	[Color-coded grid]																											
4-2 Implement the conclusion issued from the discussions with central directions of MENA about the ideas of the sustainable mechanism and necessary financial resources	[Color-coded grid]																											
4-3 Reinforce the capacities of trainers of ENEP and trainers of ENS/UK through national training	[Color-coded grid]																											
4-4 Provide the technical assistances for the introduction and promotion of learner centered approach in math and science into the PRESET program	[Color-coded grid]																											
4-5 Set up the quarterly review session of SMASE activities during the council meetings of departments in each province	[Color-coded grid]																											

f

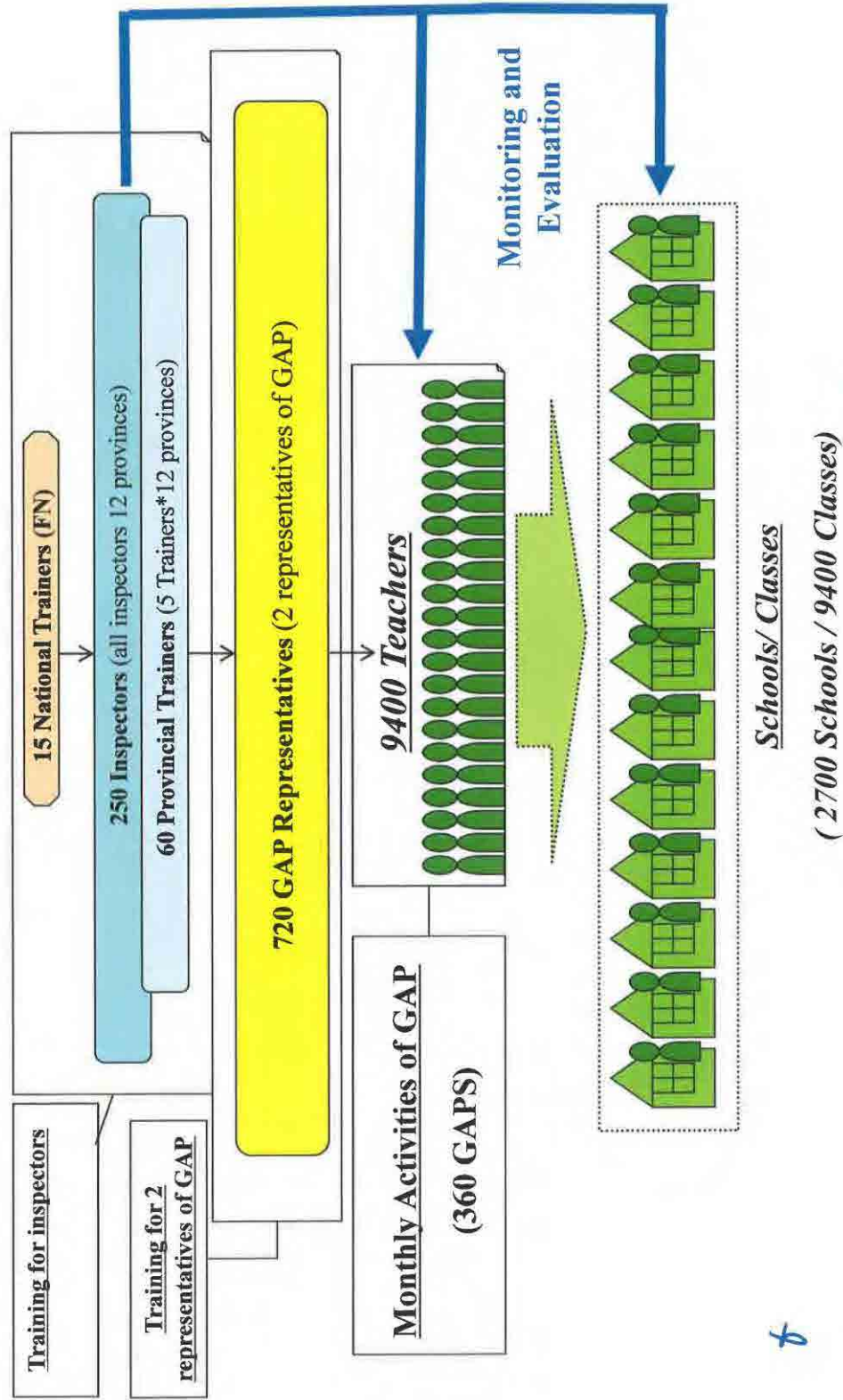
B

g

ANNEX 3

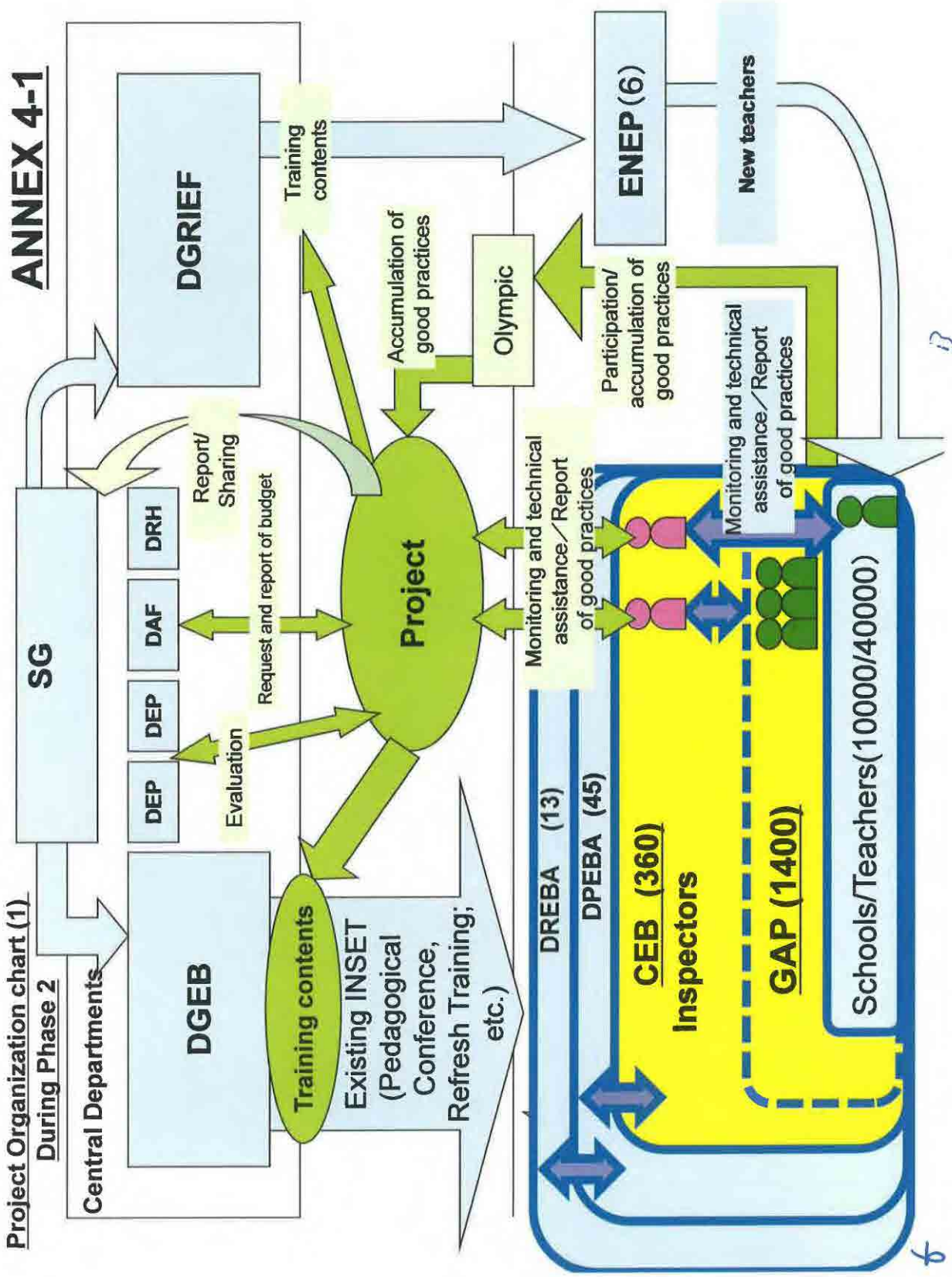
Structure of the cascade training

—One model of one group for 41 provinces—



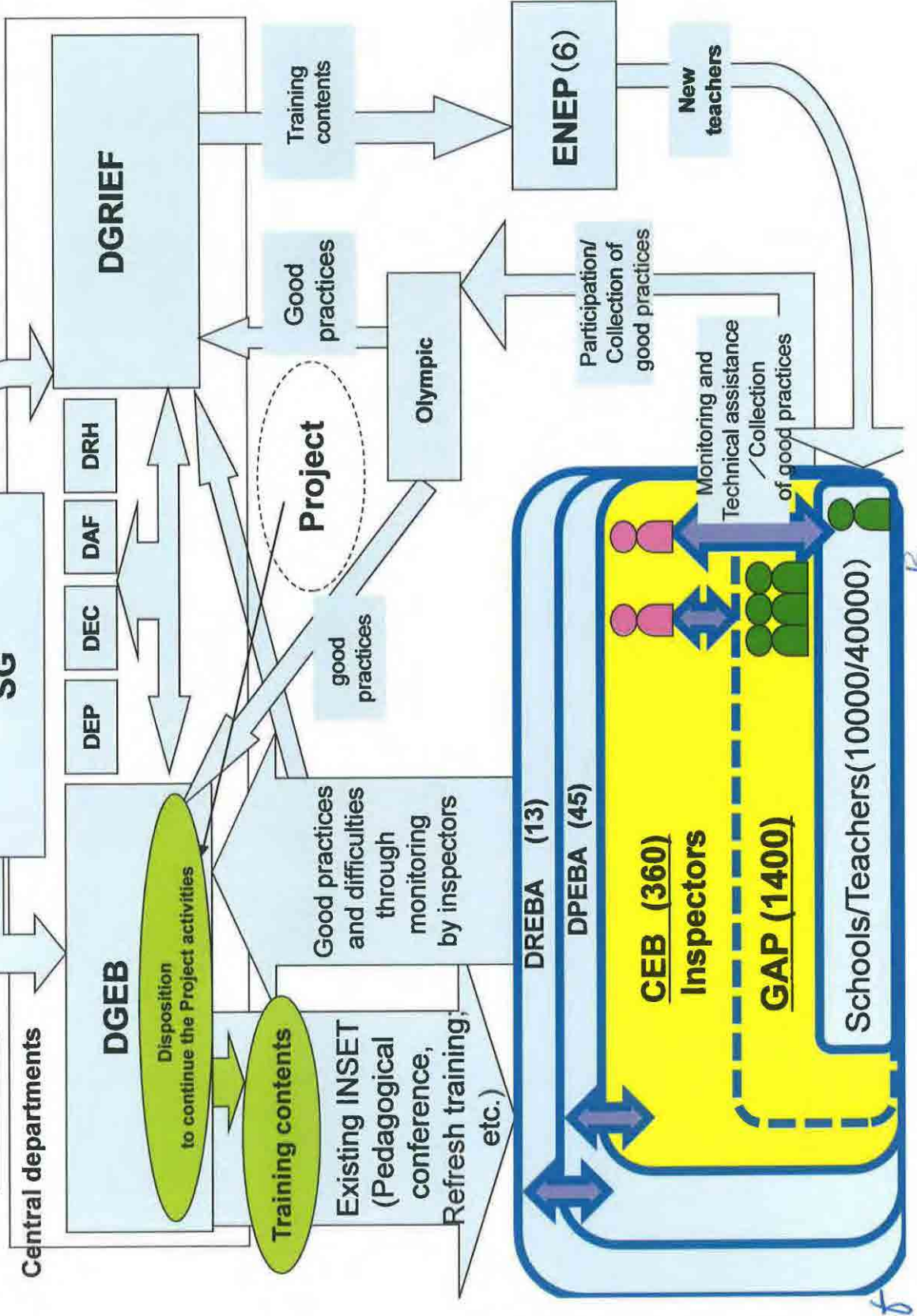
t

B



ANNEX 4-2

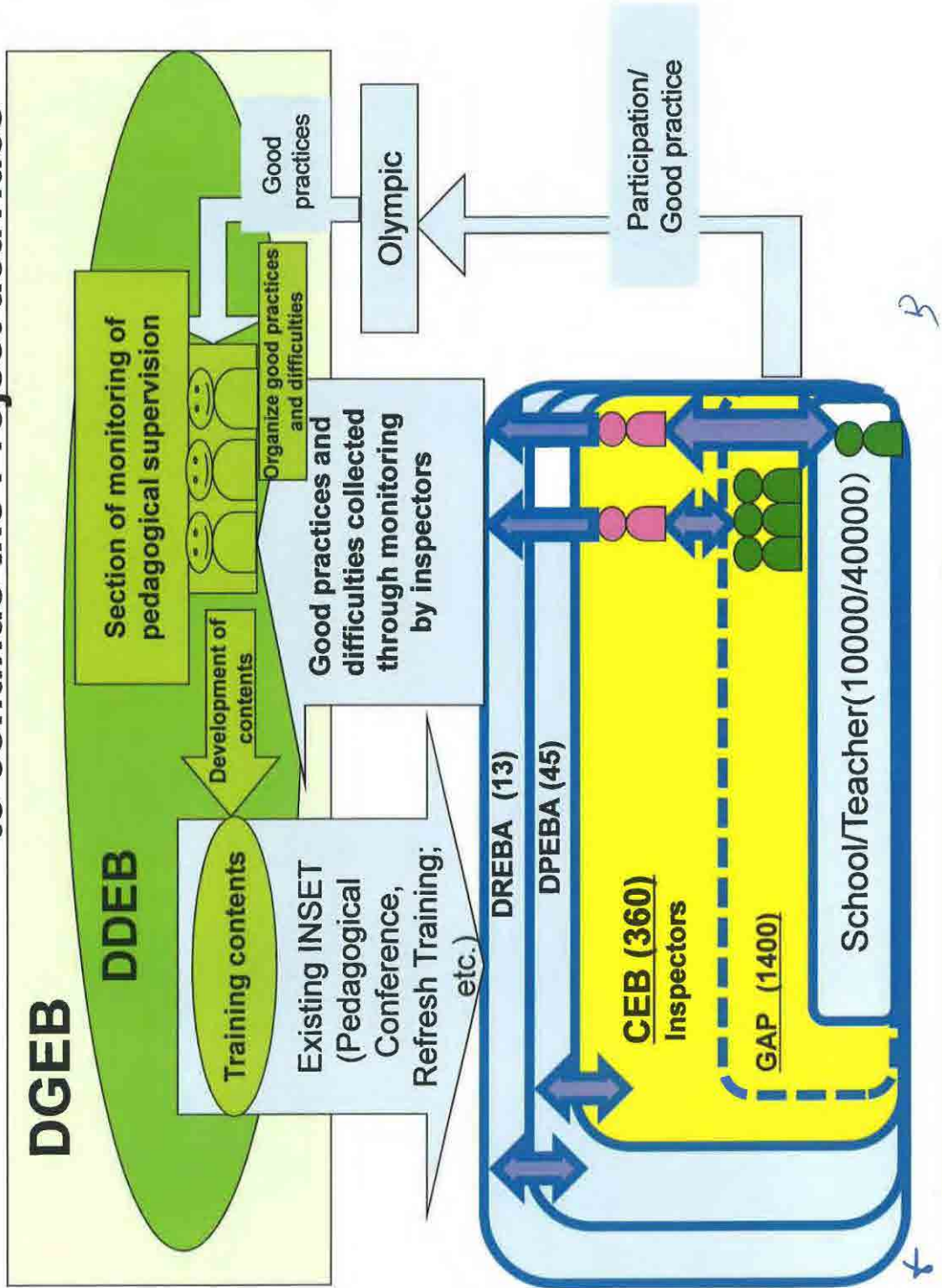
Project Organization chart (2)
After the Project



Project Organization chart (3)
After the Project

ANNEX 4-3

Department and Section of DGEB to continue the Project activities



Handwritten initials in the top right corner.

ANNEX 5 ROLES OF VARIOUS STRUCTURES

1. National Steering Committee

(1) The National Steering Committee is the structure in charge of supervising as well as of monitoring and evaluating the implementation of the activities in the framework of the Project. It is in charge of;

- Defining the general guidelines and strategy of the implementation of the Project
- Supervising the overall management and administration of the Project
- Adopting the annual plans of operation submitted by the National Coordinator
- Evaluating the overall progress of the Project

(2) The National Steering Committee consists of the following member;

- Chairperson: Secretary General of MENA

- Members:

- General Director of Basic Education (DGEB)
- General Director of the Research, Educational Innovation, and Training (DG/RIEF)
- Director of Administration and Finance (DAF)
- Director of Human Resources (DRH)
- Director of Study and Planning (DEP)
- General Director of the National School of Primary School Teachers (ENEP) of Loubila
- General Director of the Cooperation, Ministry of Economy and Finance
- Resident Representative of JICA Burkina Faso Office

Handwritten letter 'B' on the right margin.

-Reporters

- National Coordinator
- JICA Experts

-Observer

- One representative of Japanese Embassy

(3) In the implementation of the Project, the responsibilities of the National Steering Committee are established as follows;

- DGEB determines the criteria of implementation of the activities at the level of the Pedagogical Conferences, Refresh Training, and the Pedagogy Facilitation Groups (GAPs) through the Directorate of Development of Basic Education (DDEB).
- DG/RIEF is in charge of the implementation of the Project on the innovation aspect through the Directorate of Research and Pedagogy Development (DRDP), which is the implementing body of the Project.

Handwritten letter 't' at the bottom left.

Handwritten signature or initials at the bottom right.

AB

- DAF is in charge of all financial and material matters that commits the Burkina Faso side.
 - DRH ensures the administrative management of the personnel, particularly the movement of teachers and of those who are in the permanent team of the Project.
 - DEP is in charge of supervision of various projects. Thus, it is involved in the monitoring of the Project.
 - ENEP is the National Training Centre of the Project.
- (4) The National Steering Committee meets twice a year upon convocation of its chairperson.
- At the beginning of the year, to review and approve the annual work plan and budget,
 - At the end of the year, to review the progress report of the programme,
 - A special meeting of the Committee may be convoked as the need arises.
- (5) The meetings of the National Steering Committee shall result in the production of Minutes of the Meeting for the Minister of National Education and Literacy.

2. Technical Committee

The Technical Committee is established to reflect on the issues related to the good progress of the Project activities. It analyses the results and planning of the training to give some proposition to improve the activities

Its main functions are:

- To serve as an interface between the coordination of the Project and The National Steering Committee which has the character rather administrative than technical
- To give supportive suggestions to the coordination of the Project to achieve the expected objectives.
- To discuss all issues related to the training strategy and implementation and the monitoring and evaluation learner centred approach at the field level for the good progress of the Project
- To express all necessary opinions for the good progress of the Project

It is composed of representatives of main directions which have direct implications in the implementation of the Project activities: DGEB, DGRIEF, DAF, DEP, DEC.

3. Supervision authority

At the end of the Project, the Project activities will be continued under the supervision of DGEB, as the department which is in charge of INSET.

DGEB, through the DDEB will integrate the strategy of promoting the learner centered approach into ordinary tasks of the Section of Monitoring of Pedagogical Supervision.

5

B

ANNEX 6

Budget Estimation

(thousand FCFA)

	total (en milliers)		2012		2013		2014		2015	
	Charge JICA	Charge MENA	JICA	MENA	JICA	MENA	JICA	MENA	JICA	MENA
Personnel	24,000	48,240	6,000	12,060	6,000	12,060	6,000	12,060	6,000	12,060
Administrative Function of project	96,240	66,624	24,060	16,656	24,060	16,656	24,060	16,656	24,060	16,656
Equipment	25,800	1,300	25,800	1,300	0	0	0	0	0	0
Investment : project activities	607,174	458,815	147,620	94,525	173,655	156,020	176,577	149,125	109,322	59,145
TOTAL	753,214	574,979	203,480	124,541	203,715	184,736	206,637	177,841	139,382	87,861
	56.71%	43.29%	62.03%	37.97%	52.44%	47.56%	53.74%	46.26%	61.34%	38.66%

TOTAL GENERAL 1,328,193

328,021

388,451

384,478

227,243

6

B

ENTENTE DE COOPERATION
ENTRE
LE GOUVERNEMENT DU BURKINA FASO
ET
L'AGENCE JAPONAISE DE COOPERATION INTERNATIONALE
POUR
LA MISE EN ŒUVRE DU PROJET D'APPUI A LA FORMATION
CONTINUE DES ENSEIGNANTS EN MATIERE DES SCIENCES ET
DES MATHÉMATIQUES A L'ÉCOLE PRIMAIRE AU BURKINA FASO
PHASE II (SMASE - BURKINA FASO II)
DANS LE CADRE DE LA COOPERATION TECHNIQUE

Ouagadougou, le 09 novembre, 2011



M. Yuji MORIYA
Représentant Résident
de l'Agence Japonaise de Coopération
Internationale au Burkina Faso
Japon



Mme. Koumba BOLY/BARRY
Chevalier de l'Ordre du Mérite
Ministre de l'Éducation Nationale et de
l'Alphabétisation
Burkina Faso



M. Lucien Marie Noël BEMBAMBA
Officier de l'Ordre National
Ministre de l'Économie et des Finances
Burkina Faso

Sur la base du procès verbal des discussions de l'Etude d'Elaboration du Plan Détaillé du Projet d'Appui à la Formation Continue des Enseignants en Matière des Sciences et des Mathématiques à l'Ecole Primaire au Burkina Faso Phase II (SMASE-BURKINA FASO II), (ci-après dénommé "le Projet") signé le 09 septembre 2011 entre le Ministère de l'Education Nationale et de l'Alphabétisation (ci-après dénommé "MENA"), le Ministère de l'Economie et des Finances, et l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après dénommée "JICA"), la JICA a eu une série de discussions avec le MENA et les structures concernées afin d'élaborer un plan détaillé du Projet.

Les deux parties ont convenu des détails du Projet et des principaux points abordés, tels que décrits dans l'Appendice 1 et l'Appendice 2 respectivement.

Les deux parties ont aussi convenu que le MENA sera chargé de la mise en œuvre du Projet en collaboration avec la JICA, et en coordination avec les autres structures concernées. Elles ont convenu que le MENA assure l'opération du Projet pendant et après la période de mise en œuvre, en vue de contribuer au développement économique et social du Burkina Faso.

Le Projet sera mis en œuvre dans le cadre des Notes Verbales échangées le 20 avril 2010 entre le Gouvernement du Japon (ci-après dénommé le "GDJ ") et le Gouvernement du Burkina Faso.

Appendice 1 : Description du Projet

Appendice 2 : Principaux points abordés

6

3

4

DESCRIPTION DU PROJET

I. CONTEXTE

Le Burkina Faso fait face à des défis majeurs en matière de résultats scolaires notamment en Science et en mathématique à l'école primaire, de ressources humaines qualifiées de même qu'en durée de formation des enseignants qui est passé de 2 années à 1 année depuis 2002. S'appuyant donc sur un Plan Décennal de Développement de l'Education de Base (PDDEB) qui met l'accent sur la qualité de l'éducation, le MENA a mis en œuvre le SMASE – Burkina Faso Phase I de Janvier 2008 à Janvier 2010 avec l'appui de la JICA. Ainsi, en vue de l'amélioration des pratiques pédagogiques des enseignants en matière d'enseignement des sciences et des mathématiques selon l'approche ASEI-PDSI (approche centrée sur l'apprenant, Expérimentation, Contextualisation-Planification, Action, Vision, Amélioration), suivant les dispositifs de formation continue existants, le projet a mis en place une structure de formation, a amélioré les contenus des formations et les compétences des formateurs nationaux et locaux, des encadreurs pédagogiques et des représentants des GAP dans 4 provinces pilotes (Kadiogo, Ouhimbeto, Sanmatenga et Tuy) .

Etant donné que le Burkina Faso a fortement apprécié les progrès et les résultats du projet, il a sollicité la mise en œuvre de la phase 2 en vue d'étendre les résultats aux autres provinces de même que renforcer la structure d'exécution.

Par conséquent, la JICA a effectué l'étude du Plan Détaillé de la phase 2 du Projet en Septembre 2011.

II. APERCU DU PROJET

Les détails du projet sont décrits dans le Cadre Logique du Projet (Annexe 1) et dans le Plan Provisoire d'Opération du Projet (Annexe 2)

1. CONTRIBUTION

(1) Contribution de la JICA

(a) Envoi d'Experts

- 1) Experts Japonais à long terme
 - Suivi et l'évaluation / Coordination)
 - Pédagogie de l'Enseignement des Mathématiques et des Sciences
- 2) Experts à court terme / Experts de pays tiers (si nécessaire)

(b) Formation

- Formation dans un pays tiers ou au Japon
- Formation des encadreurs pédagogiques

- Atelier technique des formateurs nationaux et provinciaux

(c) Equipement et Matériel

- 1) Ordinateurs
- 2) Ordinateurs Portables
- 3) Imprimantes
- 4) Photos numériques
- 5) Caméscopes
- 6) Véhicule 4x4 pour le suivi

En cas d'importation, le matériel, l'équipement et autres biens mentionnés au point II-1, (1), (c) deviendront la propriété du MENA après livraison en mode CIF (coût, assurance et fret) aux autorités burkinabé concernées aux ports et/ou aéroports de débarquement.

Toute contribution autre que celle mentionnée plus haut sera déterminée à travers des consultations mutuelles entre la JICA et le MENA pendant la mise en œuvre du projet si besoin il ya.

(2) Contribution du MENA

Le Gouvernement du Burkina Faso prendra les mesures nécessaires pour supporter à sa charge :

- (a) Les activités du personnel homologue du MENA et du personnel administratif comme stipulé au point II.2;
- (b) La mise à disposition de bureaux appropriés avec l'équipement nécessaire;
- (c) La Fourniture ou le renouvellement des machines, équipements, instruments, véhicules, pièces de rechange et tout autre matériel nécessaire à la mise en œuvre du projet autre que l'équipement fourni par la JICA.
- (d) Les cartes d'identité
- (e) Les données disponibles (y compris les cartes géographiques et les photos) et les informations relatives au projet
- (f) Les dépenses courantes nécessaires à la mise en œuvre du projet
- (g) Les dépenses nécessaires pour le transport de l'équipement à l'intérieur du Burkina Faso comme mentionné au point II-1, (1), (c) de même que pour son installation, son utilisation et sa maintenance.
- (h) Les arrangements nécessaires au bénéfice des experts de la JICA aussi bien pour le décaissement que l'utilisation des fonds remis au Burkina Faso par la JICA en rapport avec la mise en œuvre du projet.

2. SCHEMA DE MISE EN ŒUVRE

L'Organigramme du Projet figure en Annexe 4. Les rôles et tâches des structures concernées sont comme suit:

(1)MENA

5

13

15

- (a) Le Secrétaire Général du MENA sera responsable de la coordination générale et de la mise en œuvre du projet.
- (b) Le Coordonnateur National nommé par le MENA sera responsable de la gestion des aspects techniques et de l'exécution du Projet.
- (c) Les Coordonnateurs Locaux nommés par les DREBA des zones du Projet sur proposition des DPEBA. Ils rendent compte au Coordonnateur National des activités du Projet de leur zone.
- (d) L'équipe de formateurs nationaux sera composée notamment des encadreurs pédagogiques et des spécialistes en maths et sciences de l'éducation au niveau primaire.
L'équipe de formateurs nationaux est chargée de:
 - définir le plan annuel de travail ;
 - exécuter les formations au niveau central ;
 - mener le suivi et l'évaluation du Projet ;
 - donner un appui aux formateurs provinciaux;
- (e) Les équipes de formateurs provinciaux seront mises en place par les DPEBA dans les zones d'intervention du Projet. Chaque équipe est formée de cinq formateurs. Les équipes de formateurs provinciaux ont pour missions de :
 - exécuter les formations au niveau provincial ;
 - conduire les actions de sensibilisation à l'endroit des acteurs du système éducatif - dans leur zone ;
 - mener le suivi et l'évaluation du Projet dans leur zone ;
 - donner un appui pour les représentants de GAP.
- (f) Le comité technique sera chargé de mener des réflexions sur toutes questions relatives au bon déroulement des activités du projet notamment l'analyse des résultats et la planification des formations en vue de faire des propositions de remédiation.

(2) Les Experts de la JICA

Les experts de la JICA fourniront l'assistance technique, les conseils et les recommandations nécessaires au MENA pour tout sujet ayant un rapport avec la mise en œuvre du projet.

(3) Le Comité National de Pilotage

Le Comité National de Pilotage sera mis en place dans le but de faciliter la coordination inter structures. Le comité se réunira au moins deux fois l'année et à chaque fois que besoin il y a. Le comité approuvera un plan de travail annuel de révision de toutes les avancées, conduira des encadrements et des évaluations du projet, et partagera les opinions sur les difficultés majeurs qui surviendraient pendant l'exécution du projet. Une liste de proposition des membres du comité est mentionnée en Annexe 5 .

3. LES SITES DU PROJET ET LES BENEFICIAIRES

La zone ciblée est tout le pays. Quant aux nouvelles 41 provinces ciblées, on les divise en trois et on effectue la formation en cascade par ordre.

t

B

AS

Les bénéficiaires sont tous des enseignants de sciences et de mathématiques des écoles publiques de l'enseignement primaire.

4. LA DUREE DU PROJET

De Décembre 2011 à Septembre 2015

5. LES CONSIDERATIONS ENVIRONNEMENTALES ET SOCIALES

Le MENA a convenu de respecter les 'Directives de la JICA en matière de Considérations Environnementales et Sociales' afin de garantir que les considérations appropriées seront prises en compte pour les impacts environnementaux et sociaux du Projet.

III. LES ENGAGEMENTS DU MENA ET DU GOUVERNEMENT DU BURKINA FASO

1. Le Gouvernement du Burkina Faso prendra les dispositions nécessaires pour :
 - (1) Garantir que les technologies et les connaissances acquises par le Burkina Faso comme fruit de la coopération technique japonaise contribueront au développement socio-économique du Burkina Faso d'une part et que d'autre part les connaissances et les expériences acquises par le personnel à travers la formation technique de même que l'équipement fourni par la JICA seront utilisés à bon escient dans la mise en œuvre du projet ; et
 - (2) Accorder des privilèges, des exonérations et des avantages aux experts de la JICA et leurs familles comme stipulé au point II-1 (2), ce qui est ni moins favorable que ceux accordés aux experts et les membres des missions et leurs familles des tiers pays ou des organisations internationales accomplissant des missions similaires missions au Burkina Faso.

2. Le Gouvernement du Burkina Faso prendra les dispositions nécessaires pour :
 - (1) Fournir les informations sécuritaires de même que les mesures pour garantir la sécurité des experts de la JICA ;
 - (2) Permettre aux experts d'entrer, de quitter et de séjourner au Burkina Faso pendant la durée de leur mission et les exempter des formalités d'enregistrement et des frais consulaires.

IV. EVALUATION

La JICA et le MENA entreprendront conjointement les évaluations et les révisions suivantes :

1. Revue à mi-parcours, à mi-parcours de la période de coopération
2. Evaluation Finale durant les six (6) derniers mois de la période de coopération

f

B

JB

La JICA fera les évaluations et études suivantes principalement dans le but de s'assurer de la durabilité et l'impact du Projet, et tirer les leçons. Le MENA devra lui fournir l'assistance nécessaire.

1. Evaluation ex-post trois (3) ans après la fin du projet, en principe
2. Etude de Suivi en cas de nécessité

V. PROMOTION DE L'APPUI DE LA POPULATION

Dans le but d'améliorer l'appui au projet, le MENA prendra les dispositions appropriées pour mieux faire connaître le projet à la population du Burkina Faso.

VI. CONSULTATION MUTUELLE

La JICA et le MENA se consulteront mutuellement à chaque fois que surviendra un problème majeur pendant l'exécution du projet.

VII. AMENDEMENTS

Le rapport de discussion pourrait être amendé par les procès verbaux des rencontres entre la JICA et le MENA.

Les procès verbaux des rencontres seront signés par les personnes autorisées de chaque partie qui pourraient être différentes des signataires du rapport de discussion.

- ANNEXE 1 CADRE LOGIQUE DU PROJET
- ANNEXE 2 PLAN D'OPERATION PROVISoire DU PROJET
- ANNEXE 3 STRUCTURE DE LA FORMATION CASCADE
- ANNEXE 4 ORGANIGRAMME DU PROJET
- ANNEXE 5 CAHIER DE CHARGES DES DIFFERENTES STRUCTURES
- ANNEXE 6 BUDGET ESTIMATIF DU PROJET

f

B

HB

PRINCIPAUX POINTS ABORDES

1. Le Projet généralise l'approche ASEI/PDSI sur l'ensemble du territoire à travers la formation en cascade en utilisant l'expérience acquise lors du Projet Phase I. Le coût de la formation des encadreurs pédagogiques est essentiellement à la charge de la JICA. Quant à celui de la formation des représentants de GAP, il est à la charge du MENA.
2. Le Projet offre des contenus de formation selon une approche centrée sur l'apprenant et s'appuie sur les dispositifs de formation continue existants comme la conférence pédagogique, les stages de recyclage, etc.
3. Le Projet développe un système de capitalisation des bonnes pratiques et des expériences au niveau du terrain à travers le suivi pédagogique par les encadreurs pédagogiques et « Les Olympiades ».
4. Le Projet renforce la capacité des formateurs nationaux et des encadreurs pédagogiques sur le suivi et l'appui technique aux enseignants et le développement du contenu de la formation en utilisant les bonnes pratiques et les expériences capitalisées
5. Le Projet essaye d'établir le mécanisme interactif entre le niveau central et le niveau de la classe en utilisant les dispositifs de formation continue existants visant à partager des bonnes pratiques et des expériences avec tous les enseignants du Burkina Faso.
6. Pour la pérennisation, après la fin du projet, les services de la DDEB/DGEB qui s'occupent de la mise en œuvre et de la gestion de la formation continue pourront continuer les activités ci-dessus citées, et les ressources humaines et financières nécessaires seront mobilisées à cet effet.

f

B

AB

Titre du Projet: LE PROJET D'APPUI A LA FORMATION CONTINUE DES ENSEIGNANTS EN MATIERE DE SCIENCES ET DE MATHÉMATIQUES A L'ÉCOLE PRIMAIRE PHASE II (SMASE – BURKINA FASO II)			
Durée : 12. 2011.- 9. 2015			
Régions ciblées: Toutes les régions du Burkina Faso			
Groupe cible : Enseignants du Primaire (y compris les directeurs), Encadreurs Pédagogiques, Formateurs des ENEP			
Résumé du projet	Indicateurs Objectivement Vérifiables	Moyens de vérification	Hypothèses
<p>Finalité : Les capacités des élèves en Maths et Sciences de toutes les écoles publiques au Burkina Faso sont améliorées.</p>	<p>Résultats/ Performance des élèves en maths et sciences à l'examen du CEP ou l'évaluation des acquis scolaires ou PASEC sont améliorées</p>	<p>Rapport de CEP ou l'évaluation des acquis scolaires ou PASEC</p>	
<p>Objectif Global: Les apprentissages des élèves en Maths et Sciences dans toutes les écoles publiques au Burkina Faso sont améliorés</p>	<p>Les apprentissages des élèves en maths et sciences obtiennent une moyenne de XX* points sur la base des outils de suivi/évaluation sur les activités /apprentissage des élèves</p>	<p>Rapport de l'étude de base et de l'étude de bilan (Rapports du suivi/évaluation de la pratique en classe en maths et sciences par les encadreurs pédagogiques)</p>	<p>Les éléments pour l'amélioration des capacités des élèves comme le volume horaire d'enseignement/ apprentissage à l'école ne se détériorent pas significativement.</p>
<p>But du projet : Les pratiques pédagogiques de l'approche centrée sur l'apprenant des enseignants en maths et en sciences sont améliorées à travers la formation continue.</p>	<p>Les pratiques pédagogiques de l'approche centrée sur l'apprenant des enseignants en maths et en sciences sont améliorées en moyenne de XX* pourcent aux quatre provinces pionnières et XX* pourcent aux provinces nouvelles ciblées par rapport aux résultats de l'étude de base</p>	<p>Rapport de l'étude de base et de l'étude de bilan (Rapports de l'évaluation de la pratique en classe de math et sciences par les encadreurs pédagogiques)</p>	<p>Les conditions d'enseignement des enseignants et d'apprentissage des élèves ne se détériorent pas significativement (e.g. -Ratio élève/maitre, élève/livre de mathématique et sciences n'augmente pas. -Le volume horaire d'enseignement/ apprentissage à l'école ne diminue pas significativement à cause des grèves des enseignants, etc)</p>

*Les indicateurs seront fixés selon les résultats de l'étude de base effectuée après le démarrage du Projet.

f

B

<p>Résultat 1. Dans les provinces nouvelles ciblées, les compréhensions sur l'approche centrée sur l'apprenant en maths et sciences des encadreurs pédagogiques et des représentants de GAP et de tous les directeurs et les enseignants sont améliorées</p> <p>Résultat 2 Les compétences des formateurs nationaux et des encadreurs pédagogiques sur le suivi et l'appui technique des pratiques de l'approche centrée sur l'apprenant en maths et sciences sont renforcées</p> <p>Résultat 3 Un mécanisme visant à fournir continuellement des nouveautés sur l'approche centrée sur l'apprenant est établi dans les dispositifs existants de formation continue dans les quatre provinces pionnières.</p>	<p>1-a 95 pour cent des encadreurs pédagogiques dans les provinces ciblées sont formés au concept de l'approche centrée sur l'apprenant en maths et sciences à la formation nationale</p> <p>1-b 90 pour cent des représentants de GAP dans les provinces ciblées sont formés au concept de l'approche centrée sur l'apprenant en maths et sciences à la formation provinciale</p> <p>1-c Les résultats des Pré- et Post- Test de la formation sur l'approche sont améliorés en moyenne de 1,5 point</p> <p>1-d Au moins 2 sessions GAP par an sont allouées aux activités sur l'approche centrée sur l'apprenant en maths et sciences.</p> <p>1-e Au moins 70 pour cent des enseignants participent aux séances de la pratique de l'approche centrée sur l'apprenant en maths et sciences, dans les GAP.</p> <p>1-f Les résultats de Pré- et Post- Test des séances de l'approche centrée sur l'apprenant en maths et sciences dans les GAP sont améliorés en moyenne de 1,5 point</p> <p>2-a Au moins 70 pour cent des encadreurs pédagogiques assurent le suivi et l'appui technique des activités GAP et les pratiques de l'approche en classe en utilisant les outils ASEI/PDSI</p> <p>2-b La satisfaction des enseignants et directeurs avec les conseils et l'appui fournis par les formateurs nationaux et les encadreurs pédagogiques est renforcée.</p> <p>3-a Les connaissances et les expériences à travers le suivi et l'appui technique par les encadreurs pédagogiques et les bonnes pratiques collectées lors des « Olympiades » sont accumulées</p> <p>3-b Les connaissances accumulées sur la pratique de l'approche centrée sur l'apprenant en maths et sciences sont diffusées au moins deux fois lors des conférences pédagogiques et/ou des stages de recyclage pendant la durée du projet.</p>	<p>1-a/b/c Rapport de suivi évaluation du Projet (Rapport de chaque formation)</p> <p>1-d/e Rapport synthèse des activités de GAP par DPEBA</p> <p>1-f Rapport de Pré- et Post Test effectué par le Projet des GAP choisis</p> <p>2-a Rapport de suivi et évaluation du Projet (Rapports de suivi et évaluation des leçons de maths et sciences par les encadreurs pédagogiques)</p> <p>2-b Rapport de suivi et évaluation du Projet (Questionnaires aux enseignants et directeurs)</p> <p>3-a/b Rapport de la mise en oeuvre des formations continues existantes par DDEB</p>	<p>Les conditions de pratique d'enseignement des enseignants en classe ne se détériorent pas significativement</p> <p>(e.g. –Ratio élève/maitre, élève/livre de mathématique et sciences n'augmente pas</p> <p>–Le volume horaire d'enseignement/ apprentissage à l'école ne soit pas totalement couvert dans l'année à cause des grèves des enseignants, etc)</p> <p>Les formateurs nationaux et les encadreurs pédagogiques et les enseignants formés restent à leur poste</p> <p>Les conditions du suivi et de l'appui technique des encadreurs pédagogiques ne se détériorent pas de manière significative</p> <p>La tutelle de DCEB par rapport aux activités du projet ne change pas radicalement</p>
--	---	--	---

<p>Résultat 4 Le mécanisme pour l'amélioration des compétences des enseignants sur l'approche centrée sur l'apprenant, est établi</p>	<p>4-a Le Service de Suivi de l'Encadrement Pédagogique poursuit les activités du Projet au sein de la DGEB et les ressources financières nécessaires sont prévues dans le budget du fonctionnement du MENA à partir de l'an 2015</p>	<p>4-a Plan d'action de DDEB /DGEB</p>	
<p>ACTIVITE</p> <p>< Activités pour résultat 1 ></p> <p>1-1 Nommer les Formateurs Provinciaux de chaque Province</p> <p>1-2 Réaliser l'étude de base pour obtenir les besoins et les difficultés des enseignants et des élèves dans les provinces nouvelles ciblées et dans les quatre provinces pionnières</p> <p>1-3 Réviser les modules de la formation selon les résultats de l'étude et des activités 3-1 et 3-2</p> <p>1-4 Organiser la formation des encadreurs pédagogiques</p> <p>1-5 Organiser la formation des représentants GAP par les formateurs provinciaux</p> <p>1-6 Effectuer des Pré- et Post- Test des séances de l'approche centrée sur l'apprenant en maths et sciences dans les GAP échantillonnés</p> <p>1-7 Organiser les rencontres bilan régionales afin d'analyser les difficultés et les acquis</p> <p>1-8 Planifier la formation de recyclage selon les résultats des rencontres bilans</p> <p>1-9 Organiser la formation de recyclage l'année suivante.</p>	<p>JAPAN</p> <ul style="list-style-type: none"> • Experts à long terme • Experts à court terme au besoin • Equipements nécessaires pour le Projet • Matériaux et équipements pour les formations • Formation dans les pays tiers ou au Japon • Dépenses liées à la formation des encadreurs pédagogiques et des formateurs des ENEP • Dépenses liées au suivi par les experts Japonais 	<p>BURKINA FASO</p> <ul style="list-style-type: none"> • Homologues • Formateurs Nationaux • Locaux du Projet et coût de fonctionnement • Lieux de formation • Dépenses liées à la formation pour les représentants GAP. • Dépenses liées au suivi par le coordonnateur et les formateurs nationaux 	<p>HYPOTHÈSES</p> <ul style="list-style-type: none"> • Activités de GAP ne changent pas significativement • Salaire d'enseignant ne diminue pas significativement • Structure de MENA sur les personnels et la budgétisation ne change pas significativement
<p>< Activités pour résultat 2 ></p> <p>2-1 Saisir les situations actuelles, les difficultés, et les besoins des formateurs nationaux et les encadreurs pédagogiques à travers le suivi du projet et les résultats de l'étude de base.</p> <p>2-2. Organiser les ateliers techniques visant à renforcer les capacités des formateurs nationaux et des formateurs provinciaux sur le suivi, l'appui technique, et l'élaboration des contenus de formation SMASE</p> <p>2-3. Renforcer les capacités des encadreurs pédagogiques dans les provinces nouvelles ciblées sur le suivi et l'appui technique à travers les formations de 1-4 et les conférences pédagogiques des encadreurs</p> <p>2-4. Organiser les formations au Burkina Faso ou coordonner les formations dans un pays tiers visant à renforcer des compétences des formateurs nationaux et des encadreurs pédagogiques au besoin</p>			

8

B

[Signature]

<p>< Activités pour résultat 3 ></p> <p>3-1 Développer l'outil d'observation des activités de l'élève en classe à travers le résultat des activités 1-2 et 2-1</p> <p>3-2 Expliquer l'utilisation de l'outil d'observation des activités de l'élève en classe aux encadreurs pédagogiques lors des formations de 2-2 et 2-3 etc</p> <p>3-3 Capitaliser et partager les connaissances et les expériences par rapport aux suivis et appuis techniques sur l'approche centrée sur l'apprenant à la conférence pédagogique des encadreurs</p> <p>3-4 Organiser « les Olympiades » pour accumuler les expériences au niveau du terrain</p> <p>3-5 Développer des contenus de formation sur la base des connaissances accumulées à travers les activités de 3-3 et 3-4</p> <p>3-6 Fournir des contenus aux conférences pédagogiques et/ou des stages de recyclage</p>	<p>< Activités pour résultat 4 ></p> <p>4-1 Echanger des idées sur les mécanismes durables, ressources financières nécessaires pour améliorer les capacités des enseignants du primaire dans la pratique de l'approche centrée sur l'apprenant en maths et sciences avec les directions centrales du MENA</p> <p>4-2 Mettre en oeuvre des conclusions issues des échanges avec les directions centrales du MENA sur les mécanismes durables, et les ressources financières nécessaires.</p> <p>4-3 Renforcer les capacités des formateurs des ENEP et des formateurs de l'ENS/JUK à travers les formations nationales.</p> <p>4-4 Donner des appuis techniques sur l'introduction et la promotion de l'approche centrée sur l'apprenant aux programmes de formation initiale</p> <p>4-5 Etablir le bilan trimestriel des activités SMASE au cours des réunions du conseil de direction au niveau de chaque province</p>
	<p>Préconditions</p> <ul style="list-style-type: none"> - Stratégie de MENA sur la formation continue comme la promotion de l'approche centrée sur l'apprenant ne change pas significativement - Le système actuel de formation continue comme les activités de GAP et la conférence ne change pas de manière significative - Le soutien financier aux GAP continue.

Handwritten mark

Handwritten mark

Handwritten signature



Plan d'opération provisoire du Projet

ANNEXE 2

Année fiscale du Japon	2011			2012					2013					2014					2015																					
Année	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Mois (La durée du projet est marquée en couleur)																																								
Mois (L'année scolaire est marquée en couleur)																																								
Calendrier des activités de MENA																																								
Conférence pédagogique des encadreurs																																								
Conférence pédagogique des enseignants																																								
Mission conjointe																																								
Requête du budget																																								
OEP																																								
Activités du projet																																								
Bilan annuel																																								
Comité de Pilotage																																								
Comité technique																																								
Etude, Suivi																																								
Evaluation du projet																																								
Résultat 1. Dans les provinces nouvelles ciblées, les compréhensions sur l'approche centrée sur l'apprenant en maths et sciences des encadreurs pédagogiques et des représentants de GAP et de tous les directeurs et les enseignants sont améliorées																																								
1-1 Nommer les Formateurs Provinciaux de chaque Province																																								
1-2 Réaliser l'étude de base pour obtenir les besoins et les difficultés des enseignants et des élèves dans les provinces nouvelles ciblées et dans les quatre provinces pionnières																																								
1-3. Réviser les modules de la formation selon les résultats de l'étude et des activités 3-1 et 3-2																																								
1-4. Organiser la formation des encadreurs pédagogiques																																								
1-5. Organiser la formation des représentants GAP par les formateurs provinciaux																																								
1-6. Effectuer des Pré- et Post- Test des séances de l'approche centrée sur l'apprenant en maths et sciences dans les GAP échantillonnés																																								
1-7. Organiser les rencontres bilan régionales afin d'analyser les difficultés et les acquis																																								
1-8. Planifier la formation de recyclage selon les résultats des rencontres bilans																																								
1-9. Organiser la formation de recyclage l'année suivante.																																								
Résultat 2. Les compétences des formateurs nationaux et des encadreurs pédagogiques sur le suivi et l'appui technique des pratiques de l'approche centrée sur l'apprenant en maths et sciences sont renforcées																																								
2-1. Saisir les situations actuelles, les difficultés, et les besoins des formateurs nationaux et les encadreurs pédagogiques à travers le suivi du projet et les résultats de l'étude de base.																																								
2-2. Organiser les ateliers techniques visant à renforcer les capacités des formateurs nationaux et des formateurs provinciaux sur le suivi, l'appui technique, et l'élaboration des contenus de formation SMASE																																								
2-3. Renforcer les capacités des encadreurs pédagogiques dans les provinces nouvelles ciblées sur le suivi et l'appui technique à travers les formations de 1-4 et les conférences pédagogiques des encadreurs																																								
2-4. Organiser les formations au Burkina Faso ou coordonner les formations dans un pays tiers visant à renforcer des compétences des formateurs nationaux et des encadreurs pédagogiques au besoin																																								
Résultat 3. Un mécanisme visant à fournir continuellement des nouveautés sur l'approche centrée sur l'apprenant est établi dans les dispositifs existants de formation continue dans les quatre provinces pionnières.																																								
3-1. Développer l'outil d'observation des activités de l'élève en classe à travers le résultat des activités 1-2 et 2-1																																								
3-2. Expliquer l'utilisation de l'outil d'observation des activités de l'élève en classe aux encadreurs pédagogiques lors des formations de 2-2 et 2-3 etc.																																								
3-3. Capitaliser et partager les connaissances et les expériences par rapport aux suivis et appuis techniques sur l'approche centrée sur l'apprenant à la conférence pédagogique des encadreurs																																								
3-4. Organiser les olympiades en maths et sciences pour accumuler les expériences au niveau du terrain																																								
3-5. Développer des contenus de formation sur la base des connaissances accumulées à travers les activités de 3-3 et 3-4																																								
3-6. Fournir des contenus aux conférences pédagogiques et/ou des stages de recyclage																																								
Résultat 4. Le mécanisme pour l'amélioration des compétences des enseignants sur l'approche centrée sur l'apprenant est établi.																																								
4-1. Echanger des idées sur les mécanismes durables, ressources financières nécessaires pour améliorer les capacités des enseignants du primaire dans la pratique de l'approche centrée sur l'apprenant en maths et sciences avec les directions centrales du MENA																																								
4-2. Mettre en oeuvre des conclusions issues des échanges avec les directions centrales du MENA sur les mécanismes durables, et les ressources financières nécessaires.																																								
4-3. Renforcer les capacités des formateurs des ENEP et des formateurs de l'ENS/UK à travers les formations nationales.																																								
4-4. Donner des appuis techniques sur l'introduction et la promotion de l'approche centrée sur l'apprenant aux programmes de formation initiale.																																								
4-5. Etablir le bilan trimestriel des activités SMASE au cours des réunions du conseil de direction au niveau de chaque province																																								

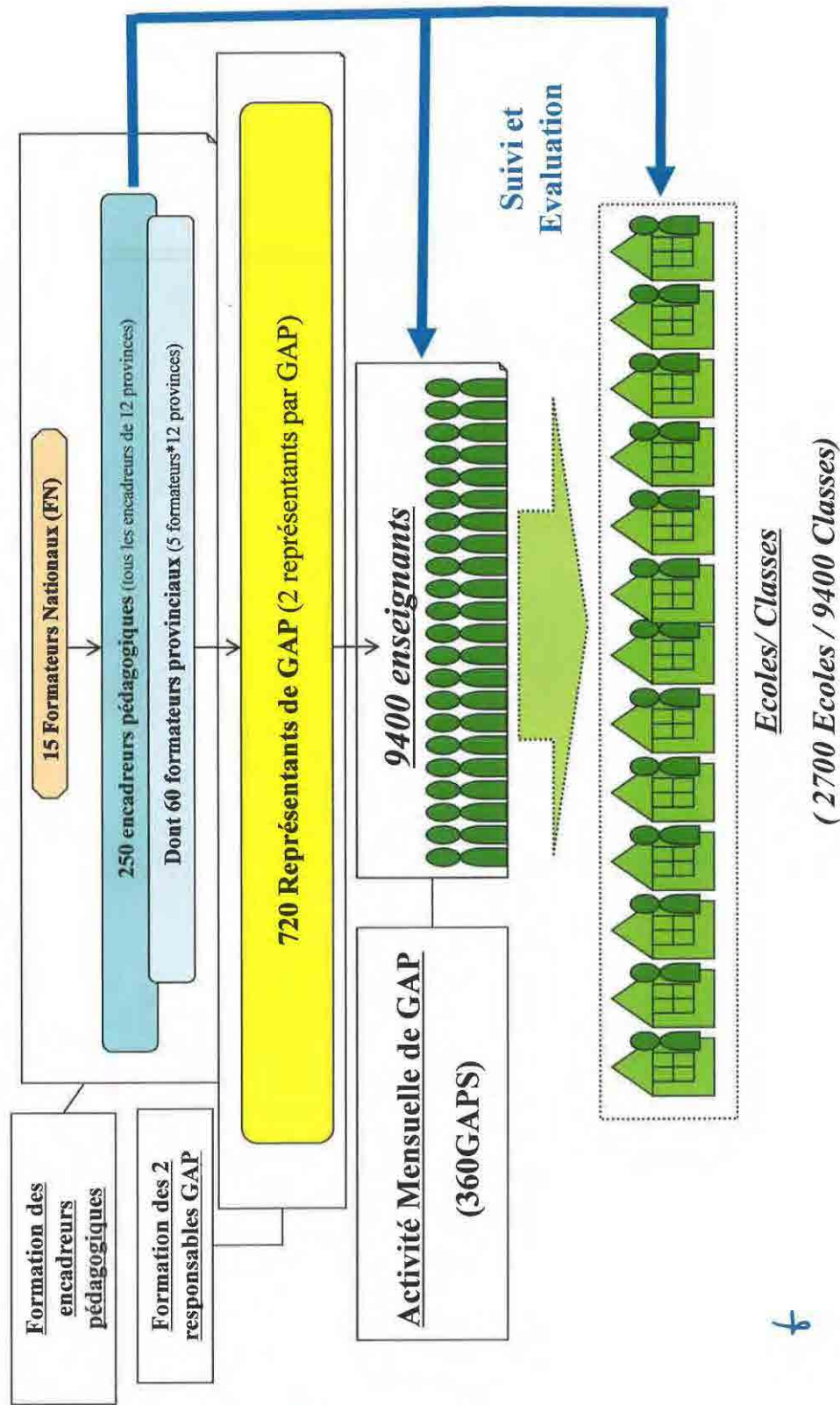
W

f

[Handwritten mark]

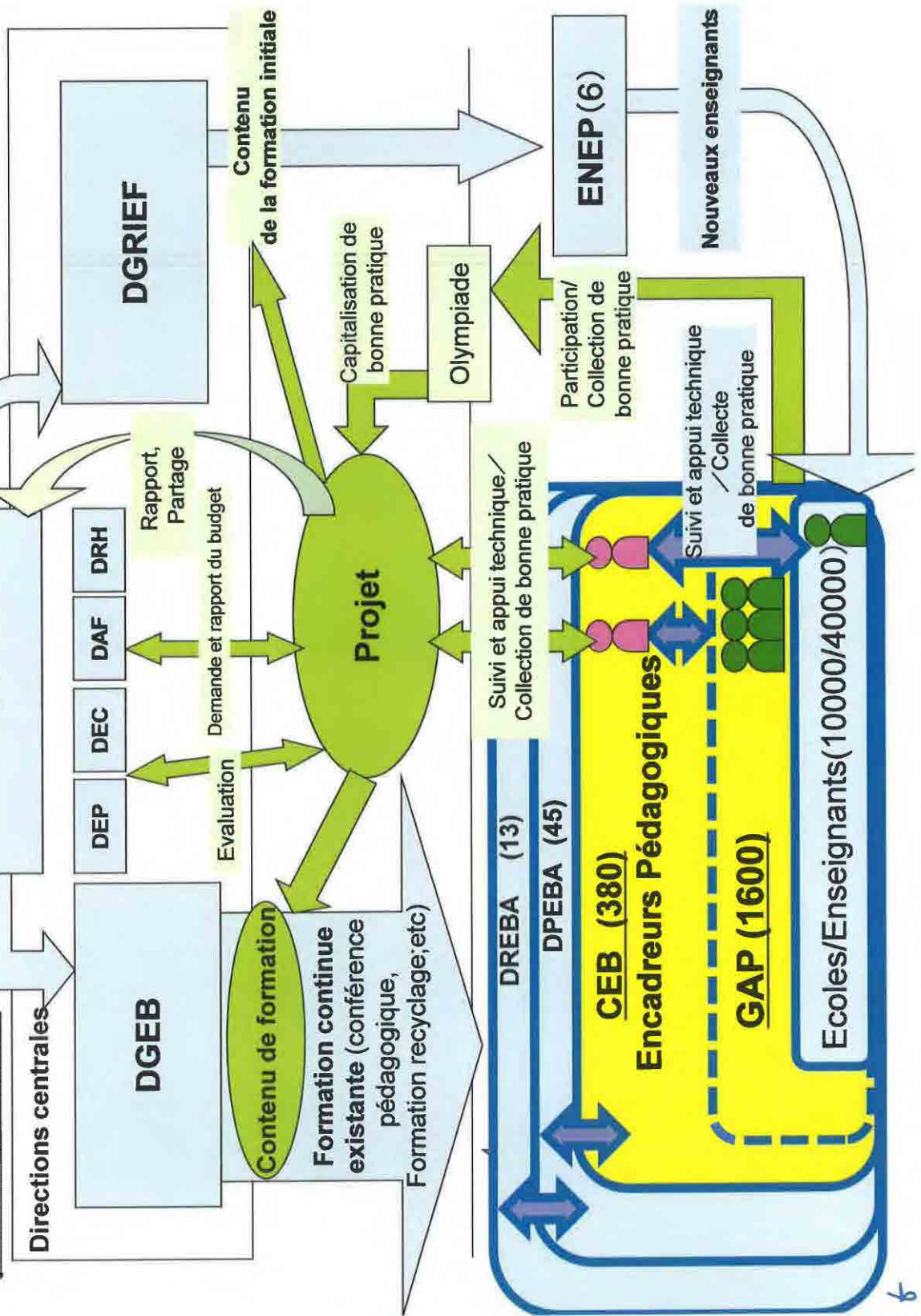
ANNEXE 3

STRUCTURE DE LA FORMATION EN CASCADE (Un modèle d'un groupe de 41 provinces)



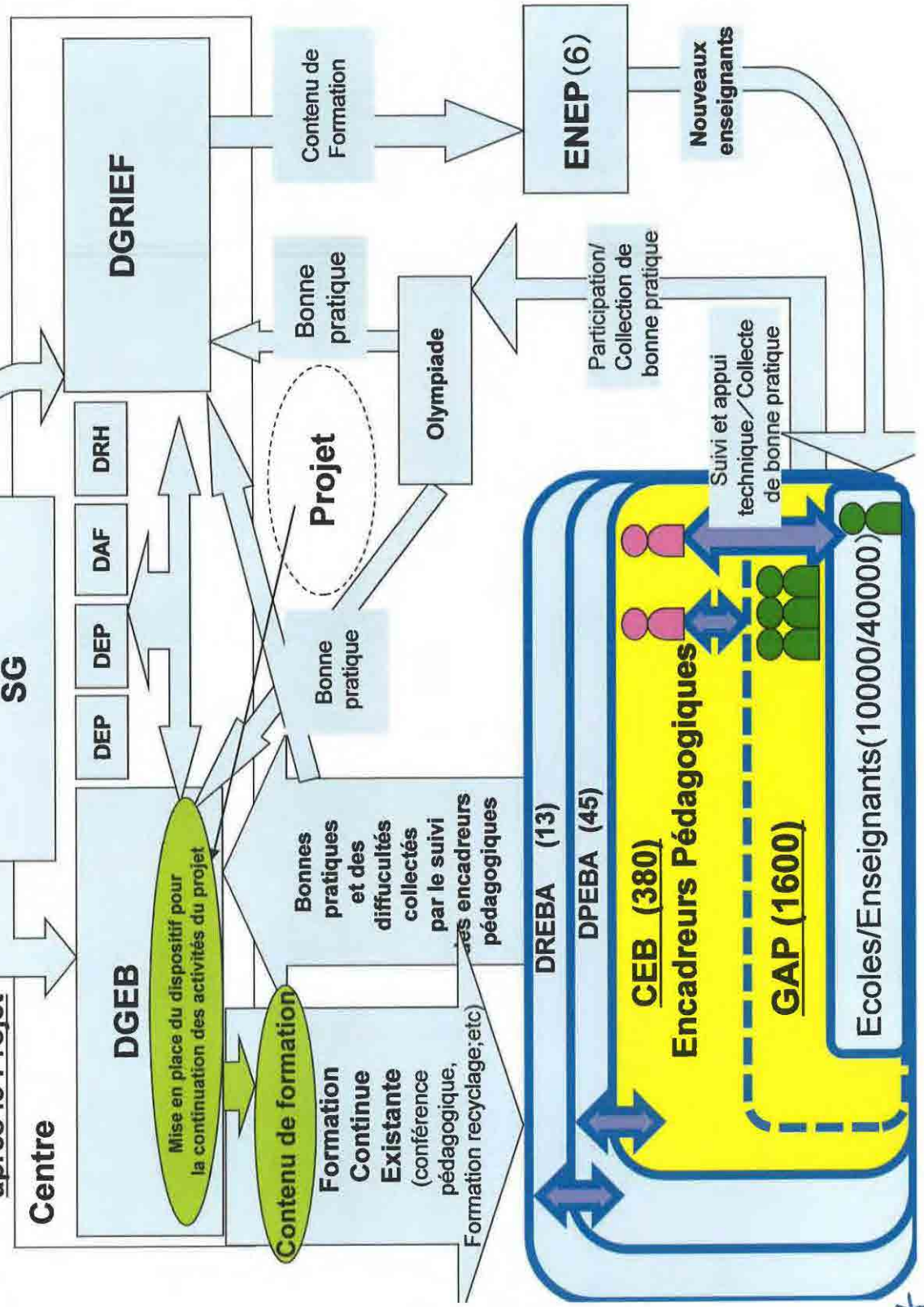
ANNEXE 4-1

Organigramme du Projet (1) pendant la Phase 2



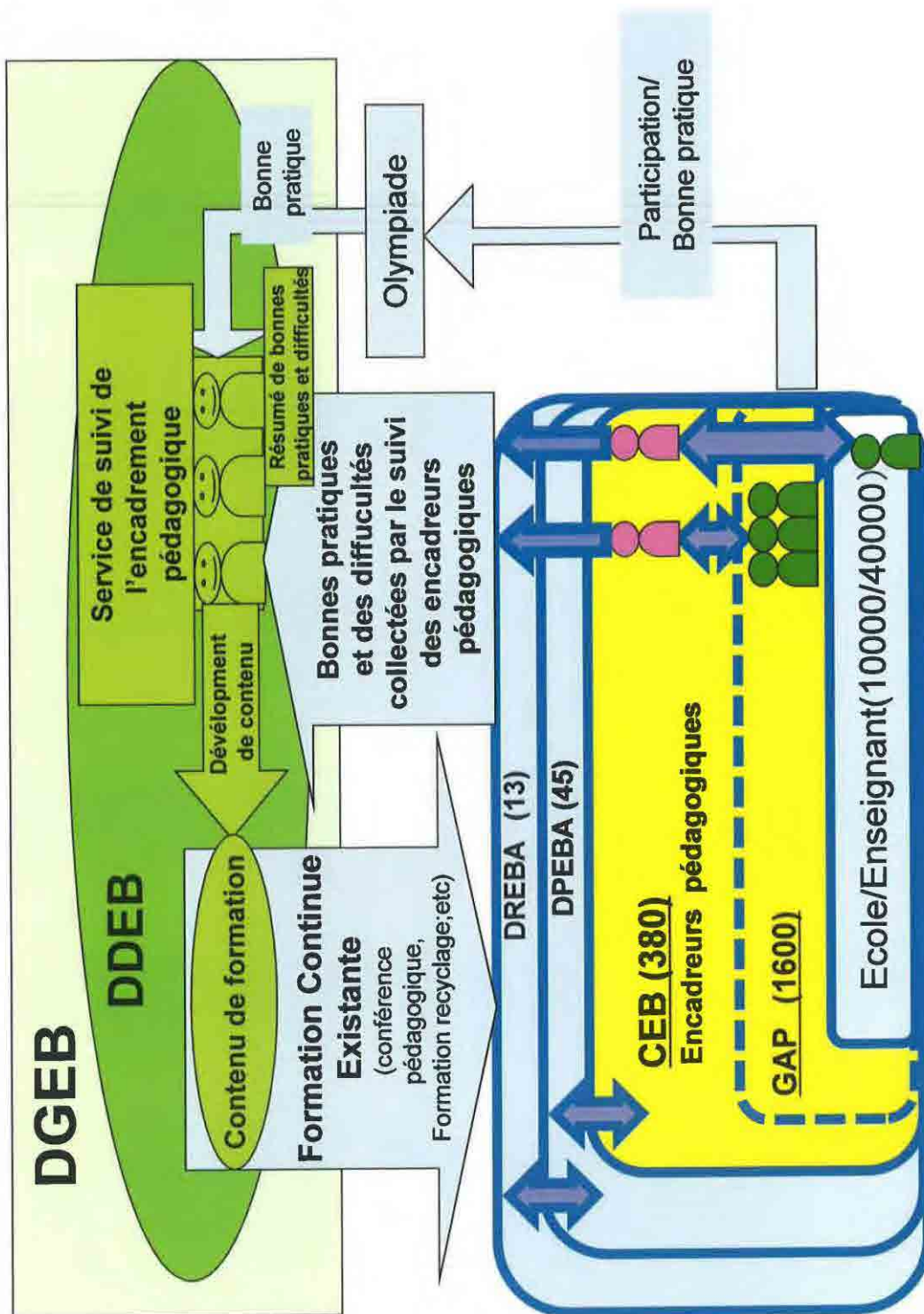
ANNEXE 4-2

Organigramme du Projet (2)
après le Projet



ANNEXE 4-3

Organigramme du Pojet (3) : Mise en place du dispositif pour la continuation des activités du Projet au niveau de DGEB



ANNEXE 5 CAHIER DE CHARGES DES DIFFERENTES STRUCTURES

1. Comité National de Pilotage

- (1) Le Comité National de Pilotage est un organe de supervision, de suivi et d'évaluation de mise en œuvre des activités dans le cadre du Projet. A ce titre, il est chargé de:
- définir les orientations générales et la stratégie de mise en œuvre du Projet ;
 - superviser la gestion et l'administration générale du Projet ;
 - adopter les plans annuels des opérations soumis par le Coordonnateur National ;
 - évaluer l'état d'avancement global du Projet

- (2) Le Comité National de Pilotage est composé de la JICA et de certains services du MENA :

Président :

Le Secrétaire Général du MENA

Membres :

- Le Directeur Général de l'Enseignement de Base (DGEB) ;
- La Directrice Générale de la Recherche, des Innovations Educatives et de la Formation (DG/RIEF) ;
- Le Directeur de l'Administration et des Finances (DAF) ;
- Le Directeur des Ressources Humaines (DRH) ;
- Le Directeur des Etudes et de la Planification (DEP) ;
- Le Directeur Général de l'Ecole Nationale des Enseignants du Primaire (ENEP Loumbila).
- Le Directeur Général de la Coopération, Ministère de l'Economie et des Finances
- Le Représentant Résident de l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (JICA)

Rapporteur :

- Coordonnateur national du projet
- Experts japonais

Observateur :

- Un représentant de l'Ambassade du Japon

- (3) Dans la mise en œuvre du Projet, les responsabilités du Comité de Pilotage sont établies comme suit :

- La DGEB définit les critères de la mise en oeuvre des activités au niveau des conférences pédagogiques, des formations de recyclage, et des Groupes d'Animation Pédagogique (GAP) à travers la Direction du Développement de l'Enseignement de Base (DDEB) ;

AP
6
B

- La DG/RIEF est responsable de la mise en oeuvre du Projet sous sa forme innovation à travers la Direction de la Recherche et du Développement Pédagogique (DRDP), structure d'exécution du Projet ;
 - La DAF prend en charge toutes les questions financières et matérielles qui engagent la partie burkinabé ;
 - La DRH assure la gestion administrative du personnel, notamment les mouvements des enseignants et celui de l'équipe permanente du Projet ;
 - La DEP est chargée de la supervision des activités des projets. A ce titre, elle est impliquée dans le suivi du Projet;
 - L'ENEP est le centre national de formation du Projet.
- (4) Le Comité National de Pilotage se réunit deux fois par an sur convocation de son président.
- En début d'année, pour examiner et approuver le programme et le budget de l'année ;
 - En fin d'année, pour examiner le bilan général de l'exécution du programme ;
 - Le Comité de Pilotage peut être convoqué en session extraordinaire chaque fois que de besoin.
- (5) Les rencontres du Comités font l'objet d'un procès-verbal à l'attention du Ministre de l'Education Nationale et de l'Alphabétisation.

2. Comité technique

Un comité technique sera mis en place pour mener des réflexions sur toutes questions relatives au bon déroulement des activités du projet notamment l'analyse des résultats et la planification des formations en vue de faire des propositions de remédiation.

A ce titre, il est chargé de:

- Servir d'interface entre la coordination du projet et le comité de pilotage qui a un caractère plus administratif que technique.
- Faire des suggestions en appui à la coordination pour l'atteinte des objectifs escomptés.
- Discuter toutes les questions relatives aux stratégies de formation, à la mise en œuvre des formations et de l'approche sur le terrain, à celles liées au suivi-évaluation
- D' émettre tout avis nécessaire au bon déroulement du projet.

Il est composé des représentants des structures ayant une implication directe dans la mise en œuvre du projet: DGEB, DGRIEF, DAF, DEP, DEC

3. Structure de tutelle

A la fin du projet, les activités se poursuivront sous la tutelle de la DGEB en tant que structure chargée de la formation continue.

SP b B

La DGEB, à travers la DDEB, intégrera la stratégie de mise en oeuvre de l'approche centrée sur l'apprenant dans les missions habituelles du service de suivi de l'encadrement pédagogique.

4

5

3

Budget Estimatif du Projet

ANNEXE 6

(mille FCFA)

	total (en milliers)		2012		2013		2014		2015	
	Charge JICA	Charge MENA	JICA	MENA	JICA	MENA	JICA	MENA	JICA	MENA
	Personnel	24,000	48,240	6,000	12,060	6,000	12,060	6,000	12,060	6,000
Fonctionnement: administration du projet	96,240	66,624	24,060	16,656	24,060	16,656	24,060	16,656	24,060	16,656
Equipement	25,800	1,300	25,800	1,300	0	0	0	0	0	0
Investissement : activités du projet	607,174	458,815	147,620	94,525	173,655	156,020	176,577	149,125	109,322	59,145
TOTAL	753,214	574,979	203,480	124,541	203,715	184,736	206,637	177,841	139,382	87,861
	56.71%	43.29%	62.03%	37.97%	52.44%	47.56%	53.74%	46.26%	61.34%	38.66%

TOTAL GENERAL 1,328,193

328,021

388,451

384,478

227,243